

会長のページ 医師会力強化	河野 雅行	3
日州医談 一億総活躍社会において医師・医療従事者の 働き方改革はどうなっていくのか?	岩村 威志	4
随 筆 医家芸術展	谷口 二郎	6
エコー・リレー (531)	吉山登志子, 川越 正一	8
メディアの目 世界糖尿病デー取材して	佐伯 浩之	9
国公立病院だより (五ヶ瀬町国民健康保険病院)	崔 林承	18
宮崎大学医学部だより (機能制御学講座 腫瘍生化学分野)	森下 和広	20
専門分科医会だより (耳鼻咽喉科医会)	井手 稔	21
診療メモ 児童相談所における児童虐待対応	中澤紀代美	70
宮大医学部学生のページ 宮崎大学学園祭 第15回清花祭	大西 啓	72

表彰・祝賀	10
あなたできますか? (平成30年度医師国家試験問題より)	12
宮崎県感染症発生動向	14
各郡市医師会だより	16
第20回宮崎県医師会医家芸術展	22
医家芸術展 出展者との意見交換会	23
各種委員会 (健康スポーツ医学委員会, 健康教育委員会)	24
ベストセラー	25
宮崎県医療事故調査支援団体連絡協議会	
宮崎県医師会医療事故調査支援委員会 合同会議	26
九州各県医師会学校保健担当理事者会 (日本医師会学校保健担当理事との懇談会)	28
令和元年度九州医師会連合会学校医会評議員会	31
第63回九州ブロック学校保健・学校医大会 令和元年度九州学校検診協議会 (年次大会)	32
九州医師会連合会第380回常任委員会	33
医師協同組合だより	34
医師国保組合だより	35
日医インターネットニュースから	36
会員の異動・変更報告	38
理 事 会 日 誌	40
県 医 の 動 き	46
ドクターバンク情報	47
行 事 予 定	53
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	55
あ と が き	76

お知らせ 「新春随想」原稿募集	11
宮崎県医療勤務環境改善支援センター	13
女性医師の皆様へ (マタニティ白衣)	30
医師資格証を持ちましょう	45
日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています	51
医師の求人・求職は日本医師会女性医師バンクをご利用ください!	69
郡市医師会への送付文書	74

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成 14 年 3 月 12 日制定)

〔表紙作品：写真〕

日が暮れる

最近足腰が弱くなったので近くの大淀川の堤防を散歩することが多くなった。夕方になると犬を連れた人やランニングをする人が多い。部活動を終え疲れた様子で自転車で帰りを急ぐ高校生を見ていると、昔の自分の姿を見るようである。夕暮れの風景が美しいのは郷愁を思い出させるためだろうか。

宮崎市 楠 元 正 輝

会長のページ

医師会力強化

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

宮崎県医師会は会員数1,800余名で県内全医師の67%が医師会へ入会しています。全国平均よりも組織率は良いというものの、30%を超える方が非会員です。この非会員の方々が入会すれば更に充実した組織になります。会員の内訳としては、県内開業医のほとんどは会員ですが、勤務医では入会されていない方も多く、これは全国的な傾向のようです。平成28年度から研修医はほぼ全員が入会しています。会費減免（無料）扱い等、優遇措置が効果を発揮したものと思われます。しかし、研修期間が終了すれば退会してしまう会員もあり、この歩留まりをいかにすべきかが問題です。できるだけ多くの医師が医師会に入会する妙案はないか？ ある県では大学医師会の入会促進を積極的に進めて、組織率を高めているようです。その「コツ」を学びたいものです。医師会入会を勧める際にそのメリットは何かを問われることが多々あります。医師会を通じた情報が得やすくなる、医師会諸保険に加入できる等々、いくつか挙げてみてもどれも説得力に欠けるようです。メリットの列記よりも、医療の大義を説くべきでしょうか。大義としては、「日本医師会綱領」に重要事項が述べられており、更に、宮崎県医師会にも「医師の心得」（「日州医事」表紙の裏に記載）があり、同様のことを述べています。これらが地域医療を担う者の大義といえるものでしょう。その大義の下に同業者が団結して初めて地域医療の充実につながるものがメリットでしょうか。本来であれば国民・県民の生命・健康を守る手段は国政・県政が講じるべきもので、代わりに我々医療人が代行実施しております。従って行政は我々が後顧の憂いなく医療に専念できる環境を整備すべきです。しかし、現実はそのような配慮が充分とはいえない感じがします。医療機関が財政的に厳しい状況にあることが第一で、その他医療に対するクレームや訴訟のリスクにさらされていること等が挙げられます。現在、既に次回診療報酬改定の協議が始まっています。先日の国政選挙の得票数から医師会（連盟）力の衰退と捉えられて、外圧が強くなり診療側には厳しい情勢が危惧されています。診療報酬は卑近な要望に過ぎませんが、広い視点から見ても医師会の発言力が強くならなければ、国民・県民の医療福祉の充実は程遠いものとなるでしょう。地域医療崩壊後の対応では「時、既に遅し」です。自分たちの力を地域医療に充分発揮させるにはそれなりの政治力が必要です。それぞれ様々な意見があり、政治信条は異なっても、地域医療を守る医師としての信念には大差はないものと信じます。医師会の力とは、すなわち組織力に他ならないしそれは会員数増強と団結力です。

先達も言っています「数は力なり」。新たなご入会を歓迎します。

（令和元年10月15日）

日州医談



一億総活躍社会において医師・医療従事者の働き方改革はどうなっていくのか？

理事 岩村 威志
いわむら たけし

我々の世代は一生懸命働くことが美德と教育され、日本人は働き過ぎだと外国から揶揄されながらも一時期は世界第二位のGDP（Gross Domestic Product:国内総生産）となり、現在でも世界第三位のGDPを維持しています。それだけのGDPがありながらも国民一人当たりの負債額は1,000万円を超えているといわれており、急速な少子高齢化社会への変化や有病高齢者の増加に伴う年金・医療費を含めた社会保障費が急増し、それを維持するために消費税も10%に増税されました。考えてみれば日本の戦後の経済発展を推し進めた集団就職から始まり、形を変えて現在も続いている産業の担い手としての若者の都会への流出、その結果の一つの現象として都会や田舎を問わずサザエさんの家族のような祖父母・両親・子どもなどと多世代の居住がなくなり核家族居住への社会構造の変化が認められ、これは我々の地域医療の現場にも直接的に影響を与えています。医療を含む社会環境の改善により平均寿命は延長し、病院においては80代、90代の高齢有病者の入院が増えているのを実感しています。有病者の多くは老老介護であったり、一人暮らしを余儀なくされている人が多く、その結果、病気が治癒して退院が可能となったとしても高齢や認知症があるなどの理由で自立が難しく、家族が近くにいたとしても自宅への退院が困難で各種施設への入所を余儀なくされています。これらの施設

では圧倒的に人手不足があり外国人労働者さえ必要とされています。働き方改革、これは企業で働く時間を削減し自分のために時間を作りゆとりを持って休めるようにするという意味もあるけれども、企業での労働時間を削減し、家族が最も重要な役割を果たすであろう育児や介護など福祉面に時間をとりやすくすると言う側面もあると考えます。

前回2018年2月に働き方改革について述べてもらいましたが、2019年4月より働き方改革関連法案（労働基準法、労働安全衛生法、労働時間等設定改善法など）が施行されましたので、今回はより具体的に考えてみたいと思います。医療業界における時間外上限規則は、医師以外の職種については法人単位で常時使用する労働者数が100人超えの大規模医療機関については2019年4月よりすでに適応され、常時使用する労働者数が100人以下の中小医療機関については2020年4月より適応されることになっています（医療機関の規模は病床数ではなく、資本金または出資金がない場合は労働者数のみで判断されます）。また医師においては5年後に時間外労働時間の正式な上限規制がなされることになっています。

厚生労働省の働き方改革の基本的な考え方は、個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を自分で選択できるようにするための改革であるとしています。すなわち日本が直面する「少子

高齢化に伴う生産年齢人口の減少」,「育児や介護との両立など,働く方々のニーズの多様化」などの課題に対応するためには,投資やイノベーションによる生産性向上とともに,就業機会の拡大や意欲・能力を存分に発揮できる社会を実現することで成長と分配の好循環を構築し働く人一人ひとりがより良い将来の展望を持てるようにすることを目標としています。その具体的施策には以下の8つが挙げられています。

(1) 時間外労働の罰則付き上限規制:医師以外は時間外労働の上限は月45時間,かつ,年360時間が原則です。医師については2024年以降に適応される標準的水準とされるA水準(月100時間,年960時間),B水準(月100時間,年1,860時間),C水準(月100時間,年1,860時間)の区別があります。B水準は地域医療の破綻をさけるための地域医療確保暫定特例水準,C水準は臨床研修や専門研修それに高度技能を育成するための集中的技能水準とされB・C水準は都道府県が対象医療機関を特定するとことになっています。しかしながらB・C水準はもともといわゆる過労死ラインを超えており問題があると考えます。

(2) 勤務間インターバル制度の努力義務:連続勤務時間の制限が28時間で勤務時間インターバル9時間の確保・代償休憩のセットが努力義務として課せられています,現実的には医師の当直などの業務が時間外労働とされるかどうかきわめて重要で,少ない人数で当直を回さざるを得ない中小病院ではどうなるのか考えさせられる重要な課題です。

(3) 5日間の有給休暇取得の義務化:年次有給休暇が年10日以上付与されている労働

者に対して,自ら申し出て取得または計画的に取得した日数を含め年5日以上取得させねばならないとされています。

(4) 月60時間を超える残業は割増賃金率を引き上げる:月60時間を超える残業の割増賃金率は50%に引き上げられます。これは(6)のフレックスタイム制と連動して考えなければならない問題です。

(5) 労働時間の状況を客観的に把握する義務:客観的な時間管理方法にはタイムカードやICカードまたはパソコンのログなどが挙げられ,これらの導入が必須となります。

(6) フレックスタイム制を拡充:今までは労働時間の清算期間が1か月でしたが,清算期間が3か月になったことで,3か月の平均で労働時間内にすれば割増賃金の支払いはありません。また例えば5月に働いた時間外分があるので7月には5月の時間外分は働かなくても欠勤扱いとならないとされています。

(7) 高度プロフェッショナル制度を新設

(8) 産業医・産業保健機能の強化

(7),(8)については厚生労働省ホームページや各種リーフレットをご参照ください。

最後に,急速な少子高齢化社会への変化・労働者不足のような社会環境の中では年金金額そのものや受給開始の問題も含め一億総活躍社会すなわち一億皆働ける者は可能な限り働き自立する必要があるということでしょうか。まあ健康で働けることはありがたいことであり,それを支えていく国民皆保険制度を維持しながら,また応招義務との整合性もとりながら国民の健康を守る医師の働き方改革が実現していくようにしたいものです。

随 筆

医 家 芸 術 展

宮崎市 たにぐちレディースクリニック たに谷 ぐち口 じ二 ろう郎

毎年、夏に医家芸術展が開かれます。今年でもう20回目になります。県内在住の医師とその家族などが書道、絵画、写真部門に分かれ、自慢の作品を発表するのです。開催場所は何と宮崎県立美術館2階県民ギャラリー。

私は毎年絵画と写真の部門に出展。写真は毎年生まれたばかりの赤ちゃんの顔写真を100枚以上パネルに貼り出展。一方絵はその年によって作風が異なります。作品に一つのパターンがないのです。だからいつも直前までどんな作品を作るのか頭を悩まします。

絵画は全くのド素人なので、こんなの出していいいのか悩みます。去年はどういう作品にするのか悩みに悩んだ末「うずまき」という180cm×90cmの大作を製作しました。まあ自分自身ではでたらめ絵画と呼んでいるのですが、まさにその通りの作品ばかりなのです。

その「うずまき」というのは、ボードに英字新聞を貼り付け、その上に蚊取り線香を置き、赤のスプレーを吹き付けた粗末な作品です。それはカタツムリをイメージしたものなのです。

見方によっては芸術作品と見る人もいるかもしれませんが。しかしほとんどの人は「これが絵？」と思うに違いありません。それでもアートとは、どんな表現法でも良いから人の心を打つということなのです。それは決して上手な絵でなくても心を打てば良いと考えています。

今年もそうでした。他の作者のように1年か

けて丹精込めた作品ではありません。まるで子どもの絵みたいな天真爛漫な絵なのです。恥ずかしいという気持ちの方が強いのです。それでも毎年出品している以上はさげられないのです。まるで子どもの夏休みの宿題と同じように、直前までバタバタとしているのです。

今年はまず90cm四方のベニアの板（500円位）をホームセンターで買い求め、それにポスターカラーで色を塗るというものです。あまりお金をかけられないので、一作品の予算は1,000円程度。だから他の人のように豪華な額に入っている絵とは違い、実にブアな作品なのです。それでも「継続とは力なり」。何とか20回頑張ることができました。

モノ作りをするということは、クリエイティブな気持ちを持つということで、人の脳を刺激して老化予防にもなります。だから画家というのは実に長生きの人が多。描いても、描いても満足することができず、また明日それ以上のものを描いてみたいという欲望が沸き起こるからでしょう。

芸術を続けるというのは、常に明日のことを考えていくということに繋がっているに違いありません。だからいつまでも長生きできるでしょう。来年もまた張り切って出展しようと思っています。

さて、20回連続して出展された方も何人かおられます。【書道】岡村公子先生【絵画】長

沼弘三郎先生【写真】楠元正輝先生，竹尾康男先生の方々です。その他10回連続された方は，
【書道】山内励先生【絵画】安藤宣様，藤木浩先生【写真】井ノ口信子様，桑原淑子先生，田中宏幸先生，西村篤乃先生の方々です。その地道な努力に頭が下がります。

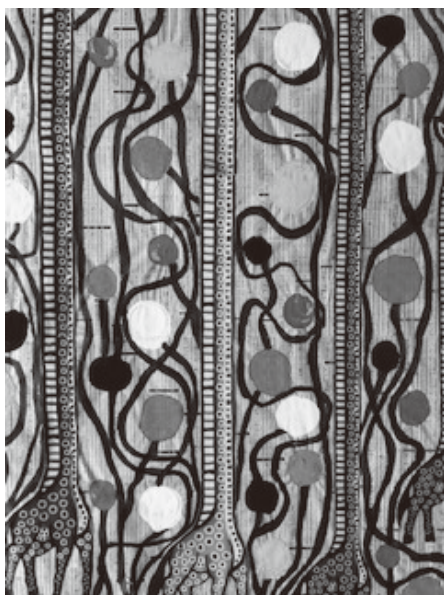
また20回のそれぞれの来場者数は次の通りです。

1 回	609人	11回	1,102人
2 回	881人	12回	1,079人
3 回	1,180人	13回	1,451人
4 回	1,072人	14回	2,416人
5 回	1,058人	15回	2,924人
6 回	1,542人	16回	1,629人
7 回	1,417人	17回	1,169人
8 回	1,068人	18回	1,495人
9 回	1,339人	19回	876人
10回	1,474人	20回	889人

19回，20回の来場者数が少ないのは会場の芸術劇場が工事のため，去年は開催されず，今年3月と9月と間が短かったのが原因と思われます。

20年間で延べ26,670人の人が来場されていることを考えるともの凄いものだとつくづく思います。

是非とも医師や家族の方々，恥ずかしがらずに書道，絵，写真などにトライされては如何でしょうか。きっと楽しい人生を送ることができますよ。



麒麟と背比べ（出展：平成26年度）



うずまき（出展：平成30年度）

エコー・リレー

(531回)

(南から北へ北から南へ)

次は社会貢献?!

都城市 北原医院 よし やま とし こ
吉 山 登志子

年齢を重ねると次第に今まで沢山の方々に支えられて来たことに対する感謝の気持ちと、今度は自分が何か世の中にお返しをする番ではないかという気持ちが

生まれてきた。昨年、ミセス日本の会という社会貢献を目的としたボランティア活動を行う会に入会した。この会は、ミセスを対象とした全日本コンテスト「ミセス日本グランプリ」によって選出されたファイナリスト達で組織されている。選考基準は健康的で知性と優美さを兼ね備え、芸術・文化にも通じて活動的なライフスタイルを持っているミセス。単なる美しさやパフォーマンスの競演だけではなく、日々の生活から体験した知恵や知識の表現と、社会貢献の意識が選考対象となっている。自分に知性と優美さがあるかどうか大変怪しいところだが、活動的なライフスタイルには自信がある。彼女達はそれぞれが美容、健康、教育、医療など様々な分野での専門家である。チャリティーイベントを企画運営し、集めた寄付金で社会福祉事業団へ車椅子を寄贈したり、動物愛護施設、児童養護施設への寄付、災害地への支援活動、公共施設の清掃ボランティアを行っている。社会奉仕は無理をしてやるものではなく、自分の得意なことや頑張れることを精一杯やった結果、それが他の人の助けになるのが理想だと思う。そして、そのパワーの源は世の中の様々な出来事に強く心を揺さぶられる共感や感動ではないかと思うのである。

[次回は、宮崎市の戸枝 通保先生をお願いします]

アナログ世代ですが

宮崎市 川越整形外科医院 かわ ごえ しょう いち
川 越 正 一

久しぶりに映画館で映画を見ました。我々の世代の方には馴染みのあるエルトンジョンの半生を描いたミュージカル映画“ロケットマン”でした。優しくメロディアスな“ユア・ソング”、“ダニエル”。エネルギッシュな“土曜の夜は僕の生きがい”、“クロコダイルロック”。代表曲の“グッバイ・イエロー・ブリック・ロード”、“ベニーとジェッツ”、“ピンボールの魔術師”など、懐かしい曲で溢れていました。しかし、ストーリーは、両親にも愛されない孤高の天才の物語。悪意の人たちに利用され次第に追い込まれていき、アルコールやドラッグにまみれていく。それでも素晴らしいメロディを生み出していく。ついに、自ら命を絶とうとするが、最後は再生の道を自ら選ぶ。72歳になった今でも、ワールドツアーなど活動が続け世界に受け入れられています。

中学生時代に、洋楽にはまりました。SP・LPレコード、木目調のセパレート型ステレオ、ラジカセ深夜放送、などなど懐かしいです。“みのみのもんだ みのもんだ ば”でおなじみの、オールジャパンプップ20を聴いていました。古いレコードは埃まみれの状態ですが、カーペンターズ、ウイングス、アルバートハモンド、ミシェルボルナレフなど、当時の懐かしい音楽を動画サイトで楽しめることに感謝しています。

中学生時代に、洋楽にはまりました。SP・LPレコード、木目調のセパレート型ステレオ、ラジカセ深夜放送、などなど懐かしいです。“みのみのもんだ みのもんだ ば”でおなじみの、オールジャパンプップ20を聴いていました。古いレコードは埃まみれの状態ですが、カーペンターズ、ウイングス、アルバートハモンド、ミシェルボルナレフなど、当時の懐かしい音楽を動画サイトで楽しめることに感謝しています。

最近、タコ入りワッフル付きの採りたて新鮮ジュースを堪能しています。

[次回は、宮崎市の河野 雅充先生をお願いします]

メディアの目



世界糖尿病デーを取材して

西日本新聞 宮崎支局長

さ えき ひろ ゆき
佐 伯 浩 之

記者30年目。北九州市を振り出しに福岡、熊本、長崎、台湾・台北などに赴任。9月から2回目の宮崎勤務に就いた。13年前の延岡以来だ。

不規則な勤務時間に夜討ち朝駆け。いつ呼び出されるか分からない不安…。その呪縛から逃れるための暴飲暴食。次第に体を壊し、40歳すぎに、糖尿病に罹患した。福岡市内の総合病院に検査・治療入院すること10日。以後、3か月に一度の検査は10年に上る。多忙時には、担当医に連絡して、日程の変更をお願いしている。先生も事情を察してくれているようだ。糖尿病になるまでは医者に行ったことはない。10年も通院するなど考えられなかった。今は担当医から病状の説明を聞くとほっとする。糖尿病は完治はしないが、運動や生活態度の改善でコントロールできる。食事制限も慣れればさほど苦にならず、歩いて出向ける取材先には徒歩で向かう。「一日1万歩以上」が目標だ。

「自分の体は自分で守る」ことを教えてくれたのは亡き母だった。私的なことで恐縮だが、母は10年前、脳出血で倒れ、手術したが手の施しようがなかった。「病膏肓に入る」だった。母も同じ糖尿病だった。何年か診察は受け

ていたが、その後は薬をもらうだけだったようだ。執刀医から糖尿病が遠因であることを指摘された。死後、母が自らの死をもって糖尿病の怖さを教えてくれたような気がした。しばらくして海外勤務の話が持ち上がり、治療に踏み切った。

毎年11月14日は、世界糖尿病デーだ。2006年に国連が公認し、国連のシンボルカラーの青が啓発色。全国でその土地の代表的建築物を青く照らし、病気の予防や啓発を行う。宮崎県でもその活動は盛んだろう。私の担当医は一昨年、から福岡地区の啓発実行委員会の委員長を務め、2年連続で太宰府天満宮（福岡県太宰府市）を照らした。初の試みだった。夜のとぼりの中で浮かび上がったお宮。「福岡のランドマークの太宰府天満宮をぜひ照らしたかった」と担当医は語った。診察の傍ら、お宮に何度も足を運んで協力を求めていることも聞いた。

自分の担当医だから取り組みを報じたのではない。医師の活動が住民の中で理解され、根付くことを願った。病気の予防・啓発活動。取材を通して理解不足から生まれる偏見や誤解を少しでもなくすために、メディアの担う役割は大きいと感じている。

表彰・祝賀

精神保健福祉事業功労者厚生労働大臣表彰

ほそ み じゅん
細 見 潤 先生（宮 崎）

令和元年10月24日、精神保健福祉事業功労により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。

衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



細見 先生



「新春随想」原稿募集

恒例になりました「新春随想」を令和2年1, 2月号に企画いたしております。
このコーナーは大変好評ですので、奮ってご投稿をお願いいたします。

- 題 材** 医事評論, 診療閑話, 身辺雑記, 詩歌, 俳句等何でも結構です。
本文に関連した写真・イラスト等 (1枚程度, カラー印刷はできません)
- 字 数** 800字以内 (字数が多い場合は「新春随想」として掲載できないことがありますのでご了承ください)
- 締 切** 令和元年12月9日 (月)
- 宛 先** 宮崎県医師会広報委員会
- ◎ 原稿には「新春随想」と明記してください。
 - ◎ 掲載については、広報委員会にご一任くださいますようお願いいたします。
 - ◎ 掲載はおひとり、1編とさせていただきます。
 - ◎ ご投稿の原稿が他誌に掲載, または投稿中の場合はその旨お知らせください。
 - ◎ 原則として、原稿はお返しいたしません。返送を希望される方はその旨ご指示ください。
 - ◎ 日州医事は、会員以外 (マスコミ・行政・図書館等) にも配布しています。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し、日州医事原稿専用アドレス (genko@miyazaki.med.or.jp) 宛にお送りください。もちろん、それ以外の方法 (FAX, 郵便等) でお送りいただいても構いません。

原稿送付・問合せ先

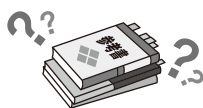
宮崎県医師会広報委員会 新春随想係

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101

FAX 0985-27-6550 TEL 0985-22-5118

※原稿送付の際は、他の原稿との混同を防ぐため「新春随想」である旨とタイトル、ご氏名を明記の上お送りください。



あなたできますか？

—平成30年度 医師国家試験問題より—

(解答は31ページ)

1. 膵管内乳頭粘液性腫瘍 (IPMN) でみられないのはどれか。
 - a Vater乳頭口の開大
 - b 膵管内の乳頭状増生
 - c 主膵管のびまん性狭窄
 - d 膵管分枝のブドウの房状拡張
 - e 主膵管内のイクラ状隆起性病変
2. 32歳の女性。めまいを主訴に来院した。今朝、耳掃除をしていたところ、子どもに後ろから抱きつかれ、右耳に耳かき棒が入った。聴力低下とぐるぐる回るめまいを自覚し、症状の改善がないため受診した。右耳鳴も持続している。右鼓膜に小さな穿孔を認め、聴力検査で右耳に軽度の聴力低下を認める。気導骨導差10dB。側頭骨CTで明らかな異常を認めない。数日以内に出現した場合、緊急手術が必要となるのはどれか。
 - a 耳漏の出現
 - b めまいの増悪
 - c 味覚障害の出現
 - d 鼓膜穿孔の拡大
 - e 気導骨導差の縮小
3. 発語は流暢で話し言葉の理解も良好だが、復唱が不能なのはどれか。
 - a 失読
 - b 純粹語聾
 - c 伝導失語
 - d Broca失語
 - e Wernicke失語
4. 疾患と腹部診察所見の組合せで正しいのはどれか。
 - a 肝膿瘍 ————— 叩打痛
 - b 胆嚢炎 ————— 脾腫大
 - c 膵尾部癌 ————— 胆嚢触知
 - d 腹部大動脈瘤 ——— 腹壁静脈怒張
 - e Krukenberg腫瘍 —— 拍動触知
5. 三叉神経の支配を受けるのはどれか。
 - a 前頭筋
 - b 側頭筋
 - c 眼輪筋
 - d 口輪筋
 - e 広頸筋
6. 7歳の男児。小学1年生の心電図検診で左室肥大を指摘され来院した。現在まで家庭や学校での生活で易疲労性を指摘されたことはない。右上肢の血圧は142/88mmHgで、左背部で収縮期に雑音を聴取する。心エコー検査で左室壁が肥厚しているが、左室の壁運動に異常を認めない。明らかな心内シャントは認めない。予想される所見はどれか。
 - a 肝腫大
 - b II音の亢進
 - c 左前胸部の突出
 - d 上下肢の血圧較差
 - e 毛細血管再充満時間の延長
7. 小球性低色素性貧血を呈する疾患はどれか。**2つ選べ。**
 - a サラセミア
 - b 溶血性貧血
 - c 鉄欠乏性貧血
 - d 葉酸欠乏性貧血
 - e 骨髓異形成症候群
8. 聴診所見と呼吸器疾患の組合せで誤っているのはどれか。
 - a stridor ————— 肺サルコイドーシス
 - b wheezes ————— 喘息
 - c friction rub ————— 結核性胸膜炎
 - d fine crackles ————— 間質性肺炎
 - e coarse crackles ——— 細菌性肺炎
9. 脊柱側弯症の検診で体幹を前屈させて観察するのはどれか。
 - a 背筋力
 - b 肋骨隆起
 - c 呼吸障害
 - d 脊椎の柔軟性
 - e 下肢への放散痛
10. 死亡診断書について正しいのはどれか。
 - a 病院が届け出る。
 - b 剖検所見は記載しない。
 - c 署名と押印とが必要である。
 - d 主治医以外は記載できない。
 - e 死因として老衰と記載できる。

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550

E-mail iryu-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

宮崎県感染症発生動向 ～9月～

令和元年9月2日～令和元年9月29日（第36週～第39週）

■全数報告の感染症

1 類：報告なし。

2 類：○結核11例（男性7例・女性4例）：保健所別報告数は【図1】，病型別報告数は【表1】，年齢別報告数は【表2】のとおりであった。

3 類：○腸管出血性大腸菌感染症3例：高鍋保健所管内から報告があった。5～9歳（1例），10歳代（2例）で，2例は無症状病原体保有者である。主な症状として腹痛，水様性下痢，嘔吐，発熱がみられた。原因菌のO血清型別はO115（VT1），O91（VT1），O128（VT1，2）（各1例）であった。

○腸チフス1例：宮崎市保健所管内から報告があった。20歳代であった。主な症状として高熱，比較的徐脈，脾腫，便秘がみられ，インドネシアへの渡航歴があった。

4 類：○重症熱性血小板減少症候群1例：宮崎市保健所管内から報告があった。70歳代で，ダニの刺し口は確認されなかった。主な症状として発熱，神経症状，下痢，血小板・白血球減少等がみられた。

○レジオネラ症2例：宮崎市，小林（各1例）保健所管内から報告があった。いずれも80歳代で，病型は肺炎型であった。主な症状として発熱，咳嗽，肺炎，倦怠感，食欲低下がみられた。

5 類：○カルバペネム耐性腸内細菌感染症1例：都城保健所管内から報告があった。50歳代で，主な症状として腹膜炎がみられた。

○劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。80歳代で，血清群はG群である。主な症状としてショック，全身性紅斑性発疹，中枢神経症状がみられた。

○侵襲性肺炎球菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。60歳代で，主な症状として発熱，胆管炎がみられた。ワクチン接種歴は無しであった。

○梅毒3例：都城（1例），日向（2例）保健所管内から報告があった。いずれも20歳代で，病型は早期顕症梅毒Ⅰ期（2例），早期顕症梅毒Ⅱ期（1例）であった。主な症状として梅毒性バラ疹，初期硬結，硬性下疳，鼠径部リンパ節腫脹（無痛性）がみられた。

○百日咳28例（男性10例・女性18例）：保健所別報告数は【図2】，年齢別報告数は【表3】のとおりであった。主な症状として持続する咳，夜間の咳き込み，呼吸苦，ウーブ，嘔吐がみられた。百日咳のワクチン接種歴は有（21例），不明（7例）であった。

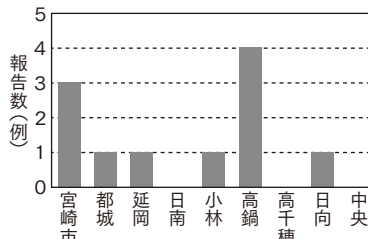


図1 結核 保健所別報告数

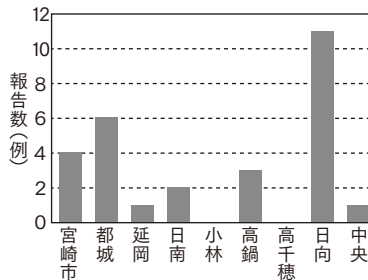


図2 百日咳 保健所別報告数

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	2
その他の結核(腸結核, 結核性胸膜炎)	3
無症状病原体保有者	5
疑似症患者	1

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
10歳代	1
20歳代	1
30歳代	1
50歳代	2
60歳代	1
70歳代	1
80歳代	2
90歳代	2

表3 百日咳 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
0～4歳	3
5～9歳	18
10歳代	4
30歳代	1
40歳代	2

■病原体検出情報(微生物部)

	検出病原体	件
ウイルス	ノロウイルスGⅡ	1
	ライノウイルス	1
	アデノウイルス1型	1
	コクサッキーウイルスA4型	1
	コクサッキーウイルスA6型	2
	ヒトヘルペスウイルス6	2
	インフルエンザウイルスAH1pdm09	4
細菌	EPEC (O26:H11)	1
	EPEC (O128:H2)	1
	EHEC (O157:H7 VT2)	1
	EPEC (OUT:H21)	1
	Salmonella Bareilly (O7:y:1,5)	1
	Salmonella Cerro (O18:z4,z23:-)	1
	Salmonella Corvallis (O8:z4,z23:-)	2
	Salmonella Enteritidis (O9:g,m:-)	1
	EAggEC (O111:H21)	1
	Bordetella pertussis (百日咳菌)	1

■ 5 類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は3,252人（定点あたり93.8）で、前月の89%，例年の102%であった。

前月に比べ増加した主な疾患はインフルエンザで、減少した主な疾患は手足口病であった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はインフルエンザとRSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及びヘルパンギーナであった。

インフルエンザの報告数は274人（4.6）で前月の約4.1倍、例年の約15.1倍であった。小林（24.6）、延岡（11.7）、中央（6.0）保健所からの報告が多く、10歳未満が全体の約6割を占めた。

RSウイルス感染症の報告数は1,051人（29.2）で前月とほぼ同程度、例年の約1.7倍であった。中央（46.0）、日向（45.5）、日南（37.7）保健所からの報告が多く、1歳以下が全体の約7割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は310人（8.6）で前月の約0.8倍、例年の約1.6倍であった。延岡（25.5）、日南（14.3）、中央（11.0）の報告が多く、1～2歳が全体の約半数を占めた。

■ 月報告対象疾患の発生動向 （2019年9月）

□ 性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は29人（2.2）で、前月比83%と減少した。また、昨年9月（2.2）の104%であった。

《疾患別》

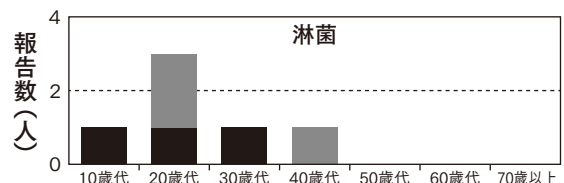
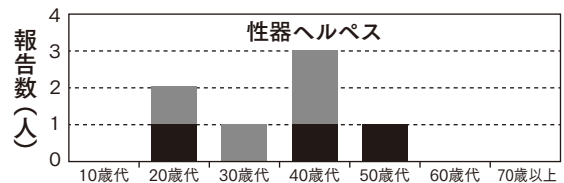
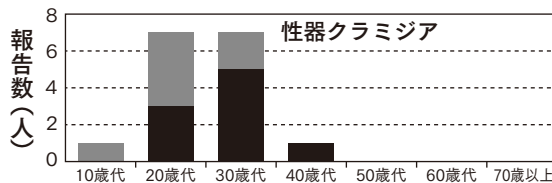
○性器クラミジア感染症：報告数16人（1.2）で、前月の約0.9倍、昨年9月の0.8倍であった。

20～30歳代が全体の約9割を占めた。（男性9人・女性7人）

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数7人（0.54）で、前月の約0.9倍、昨年9月の約2.3倍であった。（男性3人、女性4人）

○尖圭コンジローマ：報告なし。

○淋菌感染症：報告数6人（0.46）で、前月の1.2倍、昨年9月の1.5倍であった。（男性3人、女性3人）



■ 男 ■ 女

□ 薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は18人（2.6）で、前月比67%と減少した。また、昨年9月（1.9）の139%であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数18人（2.6）で、前月の約0.7倍、昨年9月の1.5倍であった。60歳以上が全体の約6割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

（宮崎県衛生環境研究所）

前月との比較

	2019年9月		2019年8月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	274	4.6	66	1.1	★
RSウイルス感染症	1,051	29.2	1,090	30.3	★
咽頭結膜熱	179	5.0	210	5.8	
※溶レン菌咽頭炎	263	7.3	269	7.5	★
感染性胃腸炎	773	21.5	955	26.5	
水痘	21	0.6	37	1.0	
手足口病	122	3.4	203	5.6	
伝染性紅斑	102	2.8	114	3.2	★
突発性発しん	101	2.8	119	3.3	
ヘルパンギーナ	310	8.6	374	10.4	★
流行性耳下腺炎	9	0.3	10	0.3	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	44	7.3	64	10.7	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	3	0.4	1	0.1	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.0	0	0.0	

★例年同時期（過去3年の平均）より報告数が多い

※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

各都市医師会だより

西都市西児湯医師会

掲載される頃は秋が深まり、インフルエンザ感染症を気にしなくてはならない時期かと思えます。当医師会の話題としては、西都児湯医療センター新病院の件ではありますが、他の先生方が毎月書かれています。医療センターの事案に対し、医師会として協力は惜しみませんし、市民ファーストで考えれば、おのずと同じ方向に向かっていけるものと考えております。今回は民間ですが、宮崎医療福祉専門学校（西都市清水）のご紹介と当医師会の実習受け入れが不十分なため、他の郡市医師会の病院、診療所に実習生が大変お世話になっていることに感謝申し上げたいと思います。昭和57年に創立された学校で、現在、看護学科、理学療法士養成学科、医療事務学科を擁しております。2年前には西都市と連携協定を結び、地域に根差した学校にもなっております。年々、国家試験合格率も安定してきており、卒業後は県外組もありますが、多くの卒業生が各都市医師会の医療機関に就職していることにも感謝申し上げたいと思います。また、社会人経験者で看護師を目指す方に朗報です。“専門実践教育訓練給付金制度”を当学校看護学科は厚労省より指定を受けており、一定の条件を満たせば入学金・学費の一部を支給され、キャリアアップにつながりますので、是非、周知していただければ幸いです。今後ともご支援の程、よろしくお願いいたします。

（松本 英裕）

宮崎市郡医師会

宮崎市郡医師会病院等移転新築工事は順調に進捗し、2020年8月に開院予定です。宮崎看護専門学校も宮崎市郡医師会病院に隣接した看護学校として再出発します。新校舎での授業は、2020年9月より開始されます。高等課程（准看護師養成）の受験生が急速に減少していますが、新築を機会に見学会等を開催し、受験生が増加することを望んでいます。高齢化が進む中で、看護師不足は益々深刻になります。社会人の看護師への道を閉ざさないためにも医師会立看護学校の継続を希望しています。

（白尾 一定）

都城市北諸郡医師会

現在団塊の世代が高齢化し、地方における医療や介護が必要な高齢者の著しい増加が見込まれる中、在宅で生活をしながら医療を必

要とする方が増えてきています。医療機関を退院され、その後の連携が取れずに必要な介護サービスが迅速に受けられず、在宅生活に様々な影響を及ぼす可能性が考えられます。こういった問題を解決すべく、都城北諸県医療圏内医療機関関係者をはじめ、都城市北諸県郡医師会、ケアマネジャー、都城保健所等と意見交換や話し合いを重ね、“都城北諸県医療圏安心入退院ルール”がこのたび制定されました。そしてかかりつけ医を持つことで、スムーズに様々な医療機関や介護サービスへの連携が行われ、患者様には早急な対応ができるようになります。これらの連携の強化が医療の蔓延化を防ぎ、同時に医療費の削減にも繋がっていきます。この連携を図る上で現れる様々な問題点を模索し解決していくことが、これからの地域医療の課題となっていくと思われます。

（高城 健司）

延岡市医師会

延岡市では、MRワクチンの接種率の向上を目指し、チラシ配布、個別ハガキ通知に加え、就学時健診時に保健師からの直接勧奨を開始し、接種者の増加に寄与している。また、学校検診は現在全学年を対象に実施されているが、学校医不足の問題があり、耳鼻科検診では医師数不足のため実施学年を減らさざるを得ない状況となっている。学校側は、平等性、疾患の見落としを心配しているが、児童生徒に不利益が及ばないように、学校側とも話し合い、方策を検討していくことが重要である。

(大重 明広)

日向市東臼杵郡医師会

「令和の時代 健(検)診をうけて 伸ばそう 皆の健康寿命」をメインテーマに9月8日(日)第24回健康まつりが日向市文化交流センターで多数の市民の参加のもと開催されました。当日は、かかりつけ医推進運営委員会の先生方を中心に、医師会ブースを設け、専門医の先生8名による健康相談も実施しました。市民の方からは「診療時にはお話できないことも、このような機会に話すことができてとても良かった」との感想もいただき、実行委員長として充実の一日となりました。

(松岡 敬子)

児湯医師会

当医師会では、毎年、「在宅緩和ケア実施状況に関するアンケート」を行っております。今年も実施し(回収29/40施設、回収率72.5%)、過去1年間に10施設で在宅緩和ケアを実施(患者数32名)、一昨年に比し微増との結果でした。各施設が個々の緩和ケア症例に対して柔軟に対応しているのが現状です。マンパワー不足、夜間・休日対応困難、患者情報不

足、急変時やレスパイト入院のためのバックベッドの確保等、課題は山積ですが、開業医と地域中核病院との連携によるチーム診療、医療・介護・行政の各機関相互の連携強化による地域の包括ケアシステムの構築が必要と考えます。

(押川 克久)

南那珂医師会

南那珂地区でも地域包括ケアシステム構築に向け様々な取組みが実践されています。日南・串間入退院調整コンセンサスルールは順調に運用され、医療介護情報共有システムNet4Uもユーザー会開催など利活用がすすんでいます。この医療介護連携は医師会を中心に毎月開催される在宅ケア研究会からスタートしました。日南地区では今年9月に290回を数え、医療介護連携のベースであるface to faceの関係づくりの場となっています。この研究会をたちあげた医師会の先輩方に改めて敬意を表したいと思います。

(木佐貫 篤)

西諸医師会

西諸地域にふさわしいバランスのとれた医療機能の分化と連携を推進するため、西諸地域医療構想調整会議が平成29年9月に開催されました。議長に公立病院の存在意義を問われ、医師不足で十分に機能を果たしていない現実から、しどろもどろの返答になったことを覚えています。本年8月に保健所長から、調整会議の中に行政と病院の責任者で構成する公立病院部会を設置するとの報告がありました。9月25日に第一回目が開催されます。今後の公立病院の在り方について十分に検討したいと思います。

(莫根 隆一)

国公立病院だより

五ヶ瀬町国民健康保険病院



ちえ いびすん
崔 林承 院長

当院は昭和39年の開院から55年目を迎えております。

町内には病院・歯科医院・薬局がそれぞれ1軒ずつではありますが、住民の暮らしを支える施設として重要な役割を担っております。

ベッド数はこの5年間で変更なく、一般36床、介護療養型18床の計54床です。

しかしながら、町の人口は5年間で約500人減少し、約3,800人（高齢化率は40%に達している）であり、病床利用率も漸減傾向にあります。

常勤医は2名を維持するのがやっとであり、引き続き熊本大学病院、高千穂町国民健康保険病院をはじめとした医療機関からの非常勤医師招聘により診療体制を維持している状況です。他の職員も一様に高齢化し順次定年を迎えるなか、看護師はじめ各専門職員の確保もこれまでになく困難となってきております。昨年度からなんとか病院薬剤師を確保することができ安堵しているところではありますが、引き続き各方面へアピールしながら人材の確保に努めていかなければなりません。

機器類も経年劣化が進み、何とか修理でつないできた機器も保守期限により入れ替えを余儀なくされております。消化管内視鏡装置、X線撮影装置、X線透視装置の更新を随時おこなうことができたが、今後は超音波、CTの入替も必要な時期に来ております。

平成27年度からは広域消防がスタートし、救急救命士同乗での救急車の運用がなされてお

りますが、高千穂の消防署が出発地となるために現場到着が遅くなるのではないかと懸念の払拭にはまだ時間がかかるのかなと感じております。熊本・延岡方面への広域搬送に関しては、高速道路の整備も着実に進んでおり、ドクターヘリ・防災ヘリの利用も合わせて、より改善が期待されるところです。

人材は育てていく取組みも必要であり、町教育委員会主導で6年前に始まった中学生対象の医療体験学習会を毎年継続して開催しております。模擬手術・縫合・心臓マッサージ・血圧測定等の体験を通して医療に対する興味を高めてもらい、将来の人材確保に繋がればと熱い期待をしているところであります。宮崎大学からは学生の地域医療実習の依頼が増えており、指導には貧弱な体制ではありますが、病院内にとどまらない体験・学習を通して地域医療への興味と理解を深めてもらいたいと考えているところです。決して多彩な症例を学べるわけではありませんが医療（・介護）と日常生活との距離感の近さを感じてもらえていると思っております。

日本の人口は減少の一途をたどり、どの業界でも人材不足が叫ばれ、小さな自治体は消滅する可能性があるとも言われています。病院は地域住民の生活を維持していくうえでも最も重要な機能の一つであり、病院のあり方を考えることは町のあり方を考えることと切り離すことはできない議題であると感じられます。

西臼杵郡3町での病院のあり方の検討会が始まって5年、現在は地域医療構想調整会議の中で検討が進められているところでありますが、9月26日には厚生労働省より「再編統合について特に議論が必要」な病院として当院も公表される事態となってしまいました。今後ますます人口減少・少子高齢化が進んでいくと思われる、再編統合の議論を具体的に進めていく段階に来ております。

五ヶ瀬町は熊本県境に接しているわけですが、当院は五ヶ瀬町制の開始後に、熊本県側の馬見原病院（現在のそよう病院）から分かれて設立された経緯があり、現在でも地理的に近いそよう病院にかかられている町民は少なくありません。再編統合を進めていくにあたり、県境ならではの現状も考慮する必要があります。状況の変化に合わせて病院も常に変わっていく必要があると考えますが、主人公はここで生活を営む町民であることを間違えないように議論を進めていかなければいけないと考えてところです。

さて、現在（原稿執筆時）はラグビーワールドカップが日本で開催されております。過去ワールドカップで4勝（うち3勝は前回大会）しかできなかった日本代表が、自国で世界の強豪を次々に倒していく姿に日本中が沸き上がり、

世界が驚嘆しております。日本代表に外国人選手が多いことに違和感を感じられる方は少ないと思いますが、ラグビーの代表権は外国人であっても、「その選手のキャリアやラグビー人生をその国のために捧げてきた結果、手にすることができる褒美」として得ることが出来ます。また、体格が小さくてもそれぞれに応じた役割を果たすことによりチームとして強くなれる、これが魅力だと思います。

同じように地域医療においても、志があれば、地元出身でなくてもその地域でしっかりと役割を担い、大きく成長させてもらえると思います。

五ヶ瀬町で働いてみたい・興味があるという方は是非連絡してください！



宮崎大学医学部だより

機能制御学講座 —腫瘍生化学分野—



もりした かずひろ
森下 和広 教授

平成12年より、宮崎大学に奉職し、来年で定年になります。宮崎にまいりまして、成人T細胞白血病（ATL）の研究を始めさせていただきました。ずっと自分の好きな研究を続けさせていた

だいた宮崎には心より感謝しております。

前回もお知らせしたかと思いますが、数年前からペルーとHTLV-1感染についての共同研究を始めました。ペルーは南米で太平洋岸にあり、HTLV-1感染症は南日本と同じく南米でも多く見られています。南米におけるHTLV-1は大きく分けると2種類あり、奴隷などとして連れてこられたアフリカ黒人によると考えられているアフリカロイドが大西洋岸のブラジルなどに多く見られます。それに対して、太平洋岸では面白いことにモンゴロイドで、日本とすごく近いと考えられていました。近年日本のウイルス学者が南米インカのミイラの骨からHTLV-1のゲノムを調べ、それが古代日本のウイルスが由来であるという論文が出され話題になりました。すなわち縄文時代に古代日本人が太平洋を渡り、HTLV-1とともに南米に到達したと考えられています。日本とペルーにおけるHTLV-1キャリアやそれから発症するATLの研究を通じて、ウイルスやヒトの変遷、民族やウイルスの進化を含めたウイルス感染症の仕事を進めています。同時にペルーや南米では、HTLV-1キャリアに日和見感染として糞線虫症の合併が多く、ATLの発症はこの糞線虫症の合併者から出ていることもわかってきました。従ってこの

日和見感染がATL発症の下地を作っているため、寄生虫学の丸山先生との共同でこの日和見感染の研究を通じてATL発症の本質に迫りたいと考えています。

一方で、ATLやその他白血病癌に対する抗体療法の開発も進めています。藤田医科大学の黒澤研究室とこの10年来抗体療法の開発研究を進めており、ヒト抗体ファージライブラリーを用いて、はじめからヒト抗体を作るプロジェクトを進めております。抗体作成の技術はこの黒澤先生の特許をベースに、我々の持つ抗体シーズを基礎として研究を進め、数種類の白血病癌特異的表面抗原に対する抗体を開発してきました。このプロジェクトはJSTの大学初ベンチャー支援であるSTARTプロジェクトに採択され、本年まで3年の予定で進めてまいりました。その結果として本年6月に抗体医薬開発を目的とする新たなベンチャーを立ち上げたところです。我々のベンチャーの利点は、マウスやうさぎへの抗原刺激免疫は必要とせず、立体構造が保たれている細胞表面抗原を用いて抗体スクリーニングを行い直接ライブラリーから抗体を取得する方法で、短期間にヒト抗体クローンが取れるため時間の短縮と、各種高機能性抗体が取れるという利点があります。また元ウイルス感染者などが有する中和抗体をその感染者からのBリンパ球を用いた抗体ライブラリーを作成し、抗ウイルス抗体を単離できることから、インフルエンザ中和抗体などの取得が可能となっています。宮崎大学においてはサイトメガロウイルス（CMV）や重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に対する治療用抗体を、医獣医連携により開発を進めています。自分は来年度で医学部を退官しますが、抗体療法の開発やペルーとの共同研究を通じて今後も宮崎にまだまだ貢献したいと考えており、ぜひ今後ともよろしくお願いいたします。

専 門 分 科 医 会 だ よ り

(耳鼻咽喉科医会)



井手 稔 会長

宮崎県耳鼻咽喉科医会の令和元年10月現在の会員数は、A会員36名、B会員12名の合計48名です。約2年前にこの医会だよりを書いた時から、4名がA会員として開業し、1名のA会員がご逝去されました。

更に1名のB会員が入会し、2名のB会員がご逝去されました。つまり2年間でA会員が3名増え、B会員が1名減っています。各市郡医師会別では宮崎市郡がA会員2名増B会員1名増で28名、都城市北諸県郡がA会員1名減で5名、延岡市がB会員1名減で6名、日向市東臼杵郡がA会員1名増で2名、児湯がA会員1名増B会員1名減で1名、西都市西児湯が1名、南那珂が2名、西諸3名です。総会員数は2名増えて、開業医が3名増え、B会員が1名減っています。開業が4名あったのは喜ばしいのですが、開業医1名とB会員2名がご逝去されましたことは誠に残念です。

ところである調査によると日本人のスギ花粉症の有病率は37%、通年性アレルギー性鼻炎の有病率は27%といわれています。その治療はまず抗原回避、薬物療法がほとんどですが、その根本的治療としてアレルゲンエキスによる舌下免疫療法があります。シダトレン スギ花粉舌下液が平成26年に製造販売承認されて以来、アシテア ダニ舌下錠、ミティキュア ダニ舌下錠が平成27年から、シダキュア スギ花粉舌下錠が平成30年から保険処方されています。これらの処方ができる医師は限定されています。シダトレンが発売された頃は、日本耳鼻咽喉科学会、日本鼻科学会、日本アレルギー学会あるいは日本小児アレルギー学会の主催する

東京などである約2時間の「アレルギー性鼻炎に対する舌下免疫療法講習会」を受講し、更にインターネットでの「シダトレン適正使用eラーニング」を受講終了後「シダトレン適正使用eテスト」に合格した医師が「受講終了医師」としてデータベースに登録され、更に処方医療機関が緊急時対応可能であることの確認および登録して処方可能となりました。平成27年8月からは最初の「アレルギー性鼻炎に対する舌下免疫療法講習」はインターネット上での「アレルゲン免疫療法（減感作療法）eラーニング」「アレルゲン免疫療法（減感作療法）eテスト」を受ければよく、講習会参加の必要はなくなりました。その後の各製品に対する「製品適正使用eラーニング、eテスト」以下は同じです。そのため、多くの医師が舌下免疫療法を行えることになりました。宮崎県では200名以上の医師が舌下免疫の薬剤を処方可能となっています。このうち耳鼻咽喉科医は60名以内と推定され、内科医や小児科医の方がむしろ多いと考えられます。なお、シダトレンは令和2年には製造中止となる予定です。シダトレンは液体であり冷所保管が必要な薬で、利便性の面で優れスギ花粉エキスの維持量もより高値であるシダキュアに切り替えられています。また、シダトレンは12才以上にしか処方できなかったのですが、シダキュア、アシテア、ミティキュアには年齢制限は一応ありません。ただし、5歳未満の幼児および65才以上の高齢者に対しては使用経験がないためにその安全性は確立していません。

最後に、宮崎県医師会の先生方には、耳鼻咽喉科医会に対するご支援、ご協力、ご指導を今後ともよろしくお願いいたします。

第20回宮崎県医師会医家芸術展

第20回医家芸術展が、9月4日(水)から8日(日)の5日間、県立美術館県民ギャラリーにて開催されました。889名の方にご来場いただき、無事に終了することができました。ご出展いただいた会員およびご家族の皆様には感謝申し上げます。

なお、出展された作品の一部につきましては、作者の許可を得まして、日州医事の表紙を飾る予定となっております。楽しみにお待ちしております。

出展者数、出展数および、開催期間中の来場者数は以下のとおりです。

	出展者数	出展数
書 道	7名	14点
絵 画	15名	56点
写 真	20名	65点
合 計	42名	135点

	来場者数	累 計
9月4日(水)	164名	164名
9月5日(木)	151名	315名
9月6日(金)	152名	467名
9月7日(土)	231名	698名
9月8日(日)	191名	889名

～来場者の方々からの感想をほんの一部ですが紹介いたします～

○誰にでもできない高度なメンタルなお仕事の中で、ストレスも一般人は理解できないことかと思えます。そのような中で、また素晴らしい作品を作成され、感服いたします。一つひとつの作品が日々の努力の上に完成されたものと思い、継続のすごさを教えていただきました。また、勇気をいただきました。深謝いたします。

○まるで写真のような細かい絵筆のタッチすばらしい。遠く離れて見ればなおその素晴らしさは倍増します。すごいですね。

最後に、今年度も世話人の、山内励先生（書道）、藤木浩先生（絵画）、押川紘一郎先生（写真）には多大なご尽力をいただきました。ここにお礼申し上げます。



(会場風景)

医家芸術展 出展者との意見交換会

と き 令和元年9月5日(休)

ところ レストラン レミューズ

第20回医家芸術展を記念して、出展者との意見交換会を行った。書道、絵画、写真の各部門の出展者および本会役員16名が出席し、河野会長より連続出展者への感謝状贈呈を行い、これからの医家芸術展の在り方などについて意見を交わした。

感謝状贈呈者は以下のとおり。

感謝状贈呈者

20回連続出展者

書道 1 名	岡村公子先生
絵画 1 名	長沼弘三郎先生
写真 2 名	楠元正輝先生、竹尾康男先生

10回連続出展者

書道 1 名	山内励先生（世話人）
絵画 2 名	安藤宣様、藤木浩先生（世話人）
写真 4 名	井ノ口信子様、桑原淑子先生、 田中宏幸先生、西村篤乃先生

出席者

書 道 － 大迫文子様、山内励先生、弓削和子様、弓削三重子様

絵 画 － 黒川基樹先生、長沼弘三郎先生、藤木浩先生

写 真 － 押川紘一郎先生、竹尾康男先生、谷口二郎先生、西村篤乃先生、
丸田英夫先生、丸田眞美様

県医師会 － 河野雅行会長、濱田政雄副会長、佐々木究理事



－ 各種委員会 －

健康スポーツ医学委員会

と き 令和元年9月25日(水)

ところ 県医師会館

帖佐理事の司会により開会、濱田副会長の挨拶に続き、報告・協議が行われた。

報 告

1 平成30年度県民健康セミナーについて

平成31年2月24日に開催した県民健康セミナー「健康寿命，日本一を目指そう！」について，計226名の参加があったことが報告された。

2 平成30年度県医健康スポーツ医学セミナーについて

平成31年1月16日に開催した県医健康スポーツ医学セミナーについて，計60名の参加があったことが報告された。

協 議

1 令和元年度県民健康セミナーについて

本年度の同セミナーは，令和2年2月23日(日)に宮崎県医師会創立131周年記念医学会と同時開催することが報告された。本年度も健康スポーツ医学委員会から講演を1題提案して行うことが承認され，来年オリンピックが開催されることに関連して「宮崎にゆかりのあるアスリート」を講師とすることが決定した。

2 令和元年度県医健康スポーツ医学セミナーについて

テーマ，講師等について各委員から意見が出され検討を行い，「スポーツメディカルランド宮崎（スポーツランド宮崎の推進）」をテーマにした演題で行うことが決定し，日程については令和2年2月5日(水)に開催することが承認された。

3 宮崎県スポーツドクター連盟について

平成30年度の歳入歳出決算，令和元年度事業計画・予算について協議し承認された。

4 諮問事項「みやざき東京オリンピック・パラリンピックおもてなしプロジェクト」への協力について

県，市町村，民間の関係団体等で組織される「みやざき東京オリンピック・パラリンピックおもてなしプロジェクト連携会議」の現状が報告され，今後も会議への参加など積極的に協力していくことが承認された。

出席者－田中委員長，

押川・宮永・柳田・名越・比嘉・河野(秀)委員

(県医) 濱田副会長，帖佐理事，牧野課長，本崎主事

健康教育委員会

と き 令和元年9月30日(月)

ところ 県医師会館（テレビ会議：児湯）

1 開 会

2 挨 拶

宮崎県医師会 副会長 濱田 政雄

3 諮 問

4 報 告

(1) 平成30年度健康教育事業について

会員，各専門分科医会が行った健康教育事業について報告を行った。平成30年度の実績は，各郡市医師会が119件，各分科医会が81件であった。

(2) 平成30年度宮崎県医師会県民健康セミナーについて

「健康寿命，日本一を目指そう！」をテーマに平成31年2月24日(日)に開催した。宮崎県医師会創立130周年医学会との併催で，県民201名，医師25名，合計226名の参加があり大変好評であった。

(3) 健康教育事業費補助事業について

平成26年度から開始した同補助事業について説明があった。

4 協 議

(1) 諮問事項「超高齢社会における健康教育の在り方について」

今後も検討を重ね任期中に答申することとなった。

(2) 令和元年度宮崎県医師会県民健康セミナーについて

今年度の開催日は令和2年2月23日(日)となり，昨年同様，宮崎県医師会創立131周年記念医学会との併催となったことが報告された。

医学賞受賞者講演，健康教育委員会からの1題，健康スポーツ医学委員会からの1題，計3題の講演を行うこととし，健康教育委員会からのテーマ案として「糖尿病」に関する内容が委員から提示された。

5 閉 会

出席者－中山委員長，松本副委員長，大森・竹中・竹之内・大塚・福井・帖佐(宣)委員
(県医)濱田副会長，小牧常任理事，岩村理事，牧野課長，本崎主事

10月のベストセラー（宮崎県）

集計：2019年10月1日～10月26日

1	白銀の墟玄の月①②	小 野 不 由 美	新 潮 社
2	人 間	又 吉 直 樹	毎日新聞出版
3	ケーキの切れない非行少年たち	宮 口 幸 治	新 潮 社
4	M 愛すべきひとがいて	小 松 成 美	幻 冬 舎
5	日本国紀の天皇論	百 田 尚 樹	産経新聞出版
6	世界一美味しい手抜きごはん	はらぺこグリズリー	KADOKAWA
7	落 日	湊 かなえ	角川春樹事務所
8	まよい道	佐 伯 泰 英	光 文 社
9	樹木希林120の遺言	樹 木 希 林	宝 島 社
10	恋のゴンドラ	東 野 圭 吾	実業之日本社

宮崎県医療事故調査支援団体連絡協議会 宮崎県医師会医療事故調査支援委員会 合同会議

と き 令和元年9月26日(休)

ところ 県 医 師 会 館

濱田副会長の進行により、県医療事故調査支援団体連絡協議会の河野会長、県医師会医療事故調査支援委員会の比嘉委員長から挨拶があり、報告・協議に入った。

報 告

1 宮崎県医療事故調査支援団体連絡協議会の委員について

令和元年9月末をもって任期満了となる委員について、濱田副会長から、本協議会設置要綱第4条による構成委員にて、次期も現委員が引き続き就任することが報告された。任期は令和元年10月1日から令和3年9月30日の2年間で、協議会会長は、同設置要綱第4条第2項の規定により県医師会の河野会長が務めることが合わせて報告された。

2 宮崎県医師会医療事故調査支援委員会の委員について

令和元年9月末をもって任期満了となる委員について、濱田副会長から9月24日に開催した県医師会全理事協議会にて次期委員が承認されたことが報告された。任期は令和元年10月1日から令和3年9月30日の2年間で、新任の委員は県歯科医師会推薦のお一人のみで、他の委員は全員再任されたことが合わせて報告された。

3 全国の事例および宮崎県医師会医療事故調査支援委員会の支援状況について

濱田副会長から、平成27年10月の制度発足時から令和元年8月までに医療事故調査・支援センターに報告された全国の事例について説明があった。相談件数は7,583件に上り、医療事故発生報告は1,472

件、そのうち約8割弱で院内調査が終了し、1,133件の調査報告書がセンターに集積されている。また、人口100万人当たりの医療事故発生報告件数の1年間の全国平均は3件で、宮崎県は6.2件と全国平均の2倍以上で全国一であった。この結果は、決して医療事故が多いというわけではなく、医療機関において制度が正しく理解され、医療機関が自ら調査を行い原因究明をし医療の安全の確保と質の向上に努めている結果のあらわれであると説明があった。一方で、一部、医療関係者でさえ誤解をしている方もまだいるので、まずは委員の先生方の制度の正しい理解と普及に引き続き協力いただきたいと依頼をされた。また、本支援委員会については、同じく制度発足時から8月末までの累計で、相談・支援要請件数は28件、医療事故発生報告は22件、そのうち院内調査が終了し調査結果をセンターへ報告したものが19件と報告された。なお、現在支援中の院内事故調査事例2件および前回の会議で報告された事例後に発生している事例1件について、担当委員から進捗状況の報告があった。

比嘉委員長からは、患者死亡からセンターへ院内調査結果の報告までにかかる期間は、全国平均で369.3日、宮崎県平均で356日となっており、すべてが終了するまでに約1年を要することも報告された。

協 議

1 宮崎県医師会医療事故調査支援委員会の委員長互選等について

本支援委員会設置要綱、第3条、第3項の規定により、委員長は引き続き宮崎東

病院名誉院長の比嘉利信先生が選出された。また、副委員長は、同規定により委員長が指名することとなっており、比嘉委員長から指名された県立宮崎病院副院長の下藺孝司先生、県立延岡病院院長の寺尾公成先生、都城医療センター院長の冷牟田浩司先生が引き続き就任することが決定した。

また、同設置要綱、第3条、第4項および第5項の規定に従い常任委員会の委員には、引き続き、比嘉委員長、冷牟田副委員長、寺尾副委員長、下藺副委員長、濱田・山村副会長、吉田・小牧・荒木常任理事が就任することが決定した。

2 「予期せぬ死亡事故（疑い）」発生報告書様式等について

医療機関が相談・支援要請する際に本支援委員会に提出する発生報告書様式について、情報を正確に把握するため項目を一部修正することが承認された。また、過日開催した常任委員会において、査読

もしやのように報告書の構成をある程度統一した医療事故調査報告書のひな型を作成したことが報告された。

協議の後、引き続き意見交換が行われた。委員からは、「遺族は、一体何が起こったのか真実が知りたい。第三者の公平・中立な立場での報告書であればある程度は納得していただける。遺族への説明の際にも真摯な態度で説明することが大切である」と医療機関だけでなく遺族の立場に立った意見も出された。他県では本制度に理解が得られず、今だに報告を拒否する事例もある中、宮崎県では積極的な取組みがなされており、院内調査は関係者の糾弾ではなく再発防止に資するための原因究明であることなどについてあらためて議論を交わし、引き続き公平性や専門性を十分考慮した質の高い院内調査を行っていくなどの意見が出された。

出席者－県医療事故調査支援団体連絡協議会

県医師会長 河野会長

県薬剤師会長 小山委員

県医師会医療事故調査支援委員会

国立病院機構宮崎東病院名誉院長 比嘉委員長（常任委員）

県立宮崎病院副院長 下藺副委員長（常任委員）

県立延岡病院院長 寺尾副委員長（常任委員）

県医師会副会長 濱田委員（常任委員）

〃 山村委員（常任委員）

県医師会常任理事 荒木委員（常任委員）

宮崎大学医学部附属病院（医療安全管理担当）教授 中村委員

宮崎大学医学部病理学講座構造機能病態学分野 浅田教授（代理）

県医師会病院部会長 池井委員

県精神科病院協会名誉会長 高宮委員

県歯科医師会常務理事 崎山委員

県薬剤師会副会長 本田委員

県看護協会常務理事 橋満委員

県立日南病院副院長 市成委員

古賀総合病院長 今村委員

県臨床工学技士会 平田事務局長（代理）

竹崎次長兼総務課長、湯浅課長補佐

九州各県医師会学校保健担当理事者会 (日本医師会学校保健担当理事との懇談会)

と き 令和元年8月3日(土)

ところ ホテル日航大分オアシスタワー (大分市)

近藤大分県医師会長、道永日医常任理事の挨拶の後、慣例により、近藤会長が座長に選出され協議に入った。

協 議

1 学校におけるメンタルヘルス対策の推進について(福岡県)

昨今の児童生徒等を取り巻く社会環境の複雑・多様化に伴い、心の健康については問題が多様化するとともに増大しつつあると指摘されている。このような背景から、令和4年4月より、高等学校の学習指導要領に「精神疾患の予防と回復」の項目が盛り込まれることとなり、児童生徒は教育を通じて精神保健を学習することとなっている。

各県において、学校現場におけるメンタルヘルス対策の推進に関する取組み等があれば伺いたい。また、日医および文科省を始め国の今後の方針についてご教授いただきたいとの提案理由が説明された。

ほとんどの県でスクールカウンセラーの配置や面談の実施など、メンタルヘルスに関する様々な取組みが行われていた。

日医からは、子ども達に対するメンタルヘルス対策は、スクールカウンセラーが重要な役割を担っているが、人数が少なく一人で何校も受け持っているため、適切な対応ができるのか不安に思っている。小児精神科医の数も少ないため各学校に配置するのは難しい。医師会で必要



な診療科の先生を学校へ派遣していただく方法がよいと述べられた。

2 学校における嘱託産業医の配置状況について(熊本県)

本県では平成11年に県教育委員会に安全衛生管理規定が制定され県立学校に学校職員健康管理医が配置されている。当初、職務内容も軽微で原則、学校医との兼務という条件で配置されていたが、平成21年の産業医設置要項が定められたことにより学校職員50人以上の県立学校においては産業医と名称が変更された。一方で、文科省の調査では、教育職員の精神疾患による病気休業者数は平成19年度以降5,000人前後で推移し、教育職員のメンタルヘルス対策が急務となり、ストレスチェックの実施など県立学校に配置された産業医の負担が増え、地域によっては県立学校産業医のなり手がいない状況も発生している。

九州各県の県立学校産業医の配置状況

とその報酬並びに学校産業医に対する日医と文科省との交渉状況についてご教示願いたい。

九州各県において産業医を配置できている県は少数であった。本県でもすべての県立学校に健康管理医を配置しているが、産業医としての配置ではない。

日医からは、学校医が産業医を兼務することは、今の段階では賛成していない。学校医とは別に産業医を選任するか、もし学校医が産業医の資格を持っていて産業医の職務を行う場合は、その分の報酬上乘せは絶対に必要だと思う。学校医の報酬は、地方交付税の中にしっかりと組み込まれているので、各県から行政に働きかけていただきたいとのことであった。

3 県立学校の学校医と産業医の報酬について（鹿児島県）

本県の県立学校の学校医・産業医報酬の規定が、児童生徒数や教職員数の規模に関係なく、日額報酬を一律支給となっていることから、規模に応じた報酬規程（例えば児童生徒数×単価等）とするよう県行政に対し要望してきたが、県財政の課題もあり改定には至っていない。学校医活動は、平成28年4月には四肢の状態の検査項目が追加され、産業医活動においても平成27年12月にストレスチェック制度が導入されるなど、負担も増えてきている。また近年、開業医の高齢化等の状況も相まって、学校医の担い手が少なくなっているのが現状である。本会としては学校医・産業医の待遇を改善すべく、県行政と折衝していきたいと考えている。

各県の県立学校の学校医・産業医報酬の基準、また県行政と報酬等について折

衝された実績があればお教えいただきたい。

各県の学校医・産業医の報酬については、児童生徒数に関わらず一律としている県と、本県同様、児童生徒数に応じて金額が異なる県があった。

4 特定診療科の学校医の配置について

（鹿児島県）

児童生徒等を取り巻く環境は、年々複雑多様化してきており、従来の学校医（内科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科）の診療科だけでは対応が困難になってきている。日医が以前より提言している特定診療科（整形外科、精神科、産婦人科、皮膚科）の学校専門医の配置が望まれるが、本県では、学校医報酬の予算もあり、いまだ進んでいないのが現状である。

他県において、学校専門医の配置や、例えば複数校を兼務する形で配置されているなどの実績があればお教えいただきたい。

ほとんどの県で特定診療科の専門医の配置は進んでいなかった。

5 中央情報報告

道永日医常任理事から中央情勢報告があった。

文科省への令和元年度政府予算概算要求については、①学校保健推進のための連携の仕組みの構築、②児童生徒等の健康課題の多様化に対応した健康教育の基盤の整備、③特別支援学校等における医療的ケアの充実、④SNSやネットによるいじめ防止および依存による生活習慣病の防止、⑤日本学校保健会の運営基盤の充実・強化、⑥学校における教職員の働き方改革の推進、の6項目を要望した。その中からピックアップして説明する。

平成28年4月施行の障害者差別解消法により、特別支援学校等における医療的

ケアが必要な子ども達に対して合理的配慮を行うことが決められた。普通学校にも障がいのある子どもが入学すると医療的ケアを行う看護師のニーズが高まるため、看護師の充実について予算要求を行った。

教職員の健康管理の更なる充実について予算要求した。教職員の精神疾患休職者は平成に入ってから割合が高まり約5倍になった。現在は対策が少し進み4倍程度に減ってきた。平成31年4月に作成された「学校における労働安全衛生管理体制の整備のために（第3版）」に、教職員49人以下の学校においても教育委員会で産業医の要件を備えた医師等を採用し、複数の公立学校の職員の健康管理を担当させる取組みも有効であるとされている。

今大会のテーマである、がん教育については、文科省が、①平成29年度がん教育実施状況調査の結果周知による取組み

の促進、②新学習指導要領に対応したがん教育の普及・啓発、③地域の実情に応じたがん教育の実施、④外部講師活用体制の整備の促進に対応していく。

その他、課題解決の提案として、平成28・29年度学校保健委員会の答申において、多様化、深刻化する児童生徒の心身の健康課題に学校医、学校といった個別の取組みだけでは限界があり、保護者、教育関係者、学校三師などの学校保健関係者が協力し環境を整えていく必要があるとしている。また、平成30年6月に閣議決定した第3期教育振興基本計画においては、教育委員会、首長部局、医師会、歯科医師会、薬剤師会、学校保健会、警察等が連携し取り組むことの重要性が盛り込まれている。

出席者－河野会長、高村常任理事、
山内事務局長、久永課長、
野尻課長補佐、福田・山本主事

女性医師の皆様へ

～宮崎県医師会では、妊娠中の医師に
マタニティ白衣を貸し出しています～



心地よく快適に過ごせるマタニティ白衣を2枚セット（無料）で貸し出します。どうぞお気軽にご利用ください。詳しくは、宮崎県医師会ホームページ（<http://www.miyazaki.med.or.jp/>）をご覧ください。

お問い合わせ先

宮崎県医師会 担当 山本・野尻
TEL 0985-22-5118
FAX 0985-27-6550

令和元年度九州医師会連合会学校医会評議員会

と き 令和元年 8 月 4 日(日)
ところ ホテル日航大分オアシスタワー（大分市）

近藤大分県医師会長の挨拶の後、同会長が議長に選出され議事が進行された。

報 告

- 1 平成30年度九州医師会連合会学校医会事業について（鹿児島県）
- 鹿児島県より資料に基づき報告と九州各県の協力に対するお礼が述べられた。
- 2 令和元年度九州医師会連合会学校医会事業経過について（大分県）

大分県より資料に基づき報告があった。

議 事

- 第 1 号議案 令和元年度九州医師会連合会学校医会事業計画に関する件
(大分県)
- 第 2 号議案 令和元年度九州医師会連合会学校医会負担金並びに歳入歳出予算に関する件（大分県）
- 大分県より説明があり、原案どおり承認された。
- 第 3 号議案 第64回・第65回九州ブロック学校保健・学校医大会開催担当県に関する件（大分県）



第64回（令和 2 年度）大会を福岡県担当で開催することが提案され承認された。日程は、令和 2 年 8 月 8 日(土)～ 9 日(日)、ホテル日航福岡（福岡市）において開催予定。

また、第65回（令和 3 年度）大会が沖縄県担当で開催されることが内定した。

出席者－河野会長，高村常任理事，
山内事務局長，久永課長，
野尻課長補佐，福田・山本主事

あなたできますか？（解答）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
c	b	c	a	b	d	a, c	e	b	e

第63回九州ブロック学校保健・学校医大会 令和元年度九州学校検診協議会（年次大会）

と き 令和元年 8 月 3 日(土)～4 日(日)

ところ ホテル日航大分オアシスタワー（大分市）
大分県労働福祉会館ソレイユ（大分市）

メインテーマ：「地域で取り組む健康教育～
どうするがん教育 学校医のアプローチ～」



8 月 3 日，4 日に大分市において九州ブロック学校保健・学校医大会ほか関連行事が開催された。

4 日午前に開催された令和元年度九州学校検診協議会では，小児生活習慣病・腎臓・心臓・運動器の各部門の教育講演が行われた。小児生活習慣病部門は，「小児生活習慣病の傾向と対策」と題して，大分大学医学部小児科学講座教授の井原健二先生，腎臓部門は，「腎臓検診と小児腎疾患診療の進歩」と題して，福岡市立こども病院腎疾患科科長の郭義胤先生，心臓部門では，「学校心臓検診の話題－WPW症候群を中心に－」と題し，大分大学医学部循環器内科・臨床検査診断学講座教授の高橋尚彦先生，運動器部門は，「運動器検診の効果と今後の課題」と題し，大分大学医学部附属病院リハビリテーション部助教（副部长）の池田真一先生による講演が行われた。

教育講演と並行して開催された眼科・耳鼻咽喉科の各分科会では，眼科部門が，「大学病院での小児眼科診療」と題し，大分大学眼科学講座助教の大木玲子先生，「学校保健における色覚の対応について」と題し，医療法人柏

井医院理事長で日本眼科医会常任理事の柏井真理子先生，耳鼻咽喉科部門は「学童期のアレルギーを考える」をテーマに，「小児アレルギーのトピックス～食物アレルギーと喘息～」と題し，大分大学客員教授で中津市立中津市民病院副院長の是松聖悟先生，「幼児期から学童期のアレルギー性鼻炎を考える」と題し，独立行政法人国立病院機構三重病院耳鼻咽喉科医長の増田佐和子先生による講演が行われた。

午後からは九州医師会連合会学校医会総会が開催され，次期開催県の松田福岡県医師会長から，第64回大会は，令和2年8月8日(土)～9日(日)に，ホテル日航福岡（福岡市）において開催されることが発表された。その後，基調講演が開催され，初めに「学校医・学校保健担当者が知っておくべきがん教育の在り方と基礎知識」と題し，大分大学医学部大分こども急性救急疾患学部門医療・研究事業（小児科）教授の末延聡一先生による講演があり，学校現場におけるがん教育の必要性和，学校医や学校保健担当者による発達の段階を踏まえた指導，特別な配慮が必要な事項の共有など，がん教育にあたって考慮すべき点について話された。次に「学校医（開業医）が外部講師としてかかわるがん教育の実際」と題し，あんど小児科院長の安藤昭和先生の講演があり，がん教育を行うための文科省の教材について具体的な紹介があった。これらの教材を活用して医師（学校医）が外部講師としてがん教育に積極的に関わるが必要と述べられた。

出席者－河野会長，高村常任理事，
山内事務局長，久永課長，
野尻課長補佐，福田・山本主事

九州医師会連合会第380回常任委員会

と き 令和元年10月5日(土)

ところ ホテルニューオータニ佐賀（佐賀市）

1 開 会

2 九州医師会連合会長挨拶

佐賀県医師会会長 池田 秀夫

3 報 告

1) 第119回九州医師会医学会分科会の出題並びに記念行事の参加申込状況について

(佐賀)

分科会一般演題並びに記念行事の参加状況について報告があり、ゴルフについては参加が予定の半分ほどなので積極的に参加いただくよう再度の依頼があった。

2) 大分県医師会顧問・嶋津義久先生のご逝去に伴う弔慰について (佐賀)

3) 令和元年8月の前線に伴う大雨による被害に係る見舞金について (佐賀)

九医連災害見舞金に関する申し合わせに基づき佐賀県を除く各県から10万円、九医連から30万円の合計100万円を佐賀県医師会に頂いたとの報告がなされ、併せて、池田佐賀県会長から見舞金に対してお礼の挨拶があった。

4 協 議

1) 九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会（11月16日(土)佐賀市）について (佐賀)

宮崎県医師会から今後の消費税再引き上げを見据えた控除対象外消費税問題への対応、鹿児島県医師会からは、今回の消費税増税に伴う診療報酬上の補填および中小病院、有床診療所のこれからの行方、熊本県医師会からは医療病棟の介護士にも処遇改善加算をとる項目で日本医師会に対する質問・要望事項とすることが了承された。

2) 第4回九州ブロック災害医療研修会並びに九州医師会連合会救急・災害医療担当理事連絡協議会の開催（令和2年1月18日(土)・19日(日)・佐賀市）について (佐賀)



1月18日(土)は15:00から19日(日)は9:00からホテルニューオータニ佐賀で原子力災害時の対応を中心とした研修会とすることが了承された。

3) 第382回常任委員会並びに第2回各種協議会の開催（2月1日(土)・佐賀市）について (佐賀)

2月1日(土)16:00から常任委員会、同じ時間帯の16:00から各種協議会、18:10から各種協議会報告会、19:00から懇親会とすることが、原案通り了承された。また、各種協議会の開催種目については、後日各県に照会するとのことであった。

4) 第119回九州医師会連合会総会における宣言・決議（案）について (佐賀)

鹿児島県より修正意見があったが、協議の結果、宣言・決議（案）とも原案どおりで11月の総会に諮ることが承認された。

5) その他

最近、全国各地で災害が多発しているが、九医連としての災害見舞金については、その都度、本常任委員会で見舞金を贈るかどうか協議し、見舞金を贈るときは、これまでの申し合わせに従った金額を見舞金とすることが了承された。

出席者一河野会長、山内事務局長

医師協同組合だより**グループ保険(団体定期保険)のおすすめ****特 長**

- ①「お手頃な保険料」
スケールメリットを生かしたお手頃な保険料で補償を準備
- ②「毎年見直しができる」
ライフステージの変化に合わせて補償を毎年見直せる
- ③「ご家族の補償も準備」※1
配偶者様も一緒にお申込みできます
- ④「配当金も魅力」※2
剰余金が生じた場合は、配当金を受け取れる
- ⑤「申し込み手続きが簡単」※3
簡単な告知のみで、医師の診査は必要ありません



※1 本人は 1,000 万円から 4,000 万円まで、配偶者は 1,000 万円までの 500 万円刻みで加入できます。

※2 配当金は毎年変動し、0(ゼロ)となる可能性もあります。

※3 健康状態によっては加入できない場合があります。

【補償内容】

死亡や所定の高度障害になった場合に、お支払いします

【加入資格】

新規加入は満 50 歳 6 カ月以下まで、継続は 80 歳 6 カ月まで

【月額保険料例】

40 歳男性、補償金額 4,000 万円の場合・・・5,240 円

45 歳女性、補償金額 4,000 万円の場合・・・5,400 円

50 歳男性、補償金額 4,000 万円の場合・・・9,800 円

(この保険の詳細等は下記までお問い合わせください)

【お問い合わせ先】

宮崎県医師協同組合

TEL: 0985-23-9100

FAX: 0985-23-9179

医師国保組合だより

～保健事業のご案内～

医師国保組合では、各種保健事業を実施しております。それぞれの実施期間および接種期間は令和2年3月末日までです。ぜひご利用ください。

1 健康診断 ＊40歳以上の方は、特定健診・特定保健指導を必ず受けていただくようお願いします。

対 象 者	次のいずれかに該当する被保険者の方々です。 ①組合員、高齢組合員並びにその配偶者 ②ご家族のうち、本年度中に満40歳になる方～74歳の方							
実施機関	・各地域の健診機関並びに医療機関 ※自院で実施されても請求できますので「健康診断個人票」により申請してください。 ・宮崎市郡医師会成人病検診センターにて日曜日に集団健診を実施しています。予約は当組合にお電話ください。 ※子宮頸がん検診・乳がん検診および大腸内視鏡検査は平日のみ。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th><th>集団健診実施日 ※定員：各30名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">令和2年</td><td>1月19日（第3日曜日）</td></tr> <tr> <td>2月2日（第1日曜日）</td></tr> <tr> <td>2月16日（第3日曜日）</td></tr> <tr> <td>3月1日（第1日曜日）</td></tr> </tbody> </table> ※日曜日の胃部内視鏡検査について（令和元年度より実施） ・胃部内視鏡検査は、令和2年3月1日のみ予約受付中です（令和元年10月11日現在）。 ・人数や検査状況によりますが、午前中には終了します。 ・申込受付は先着順です。お申込みはお早目にお願いします。	年	集団健診実施日 ※定員：各30名	令和2年	1月19日（第3日曜日）	2月2日（第1日曜日）	2月16日（第3日曜日）	3月1日（第1日曜日）
年	集団健診実施日 ※定員：各30名							
令和2年	1月19日（第3日曜日）							
	2月2日（第1日曜日）							
	2月16日（第3日曜日）							
	3月1日（第1日曜日）							

※特定保健指導利用券が届いた方は必ず保健指導を受けてください。

2 乳がん検診（マンモグラフィ検査）※令和元年から実施

対 象 者	女性組合員および年度中に40歳以上になる女性（家族） ※健康診断のオプションとして実施した分が対象となります。
補助金額	自己負担金は1,000円です。※年度内に1人1回のみ申請可 自己負担金を除いた費用は組合が負担いたします。
実施機関	宮崎市郡医師会成人病検診センター、都城健康サービスセンター ※予約は各センターへ直接お申込みください。
申請方法	「乳がん検診（マンモグラフィ検査）にかかる費用補助金支給申請書」にご記入・ご捺印の上、領収書（原本）を添付し当組合に提出してください。

3 その他保健事業

請求方法等の詳細は、組合員宛に送付しております「保健事業の案内」、または、当組合ウェブサイトをご覧ください。

- 1) 胃・大腸内視鏡検査の補助 2) 脳ドック等の補助 3) 肺炎球菌ワクチン接種補助
4) インフルエンザワクチン接種補助 5) 低線量ヘリカルCT肺がん検診 6) 歯科健康診査

<健康保険適用除外申請の手続きについて>

医師国保に既にご加入の方は、事業所が法人化する等で健康保険の適用となる場合でも、健康保険適用除外の承認を受けることにより、引き続き医師国保に残ることができます。

健康保険の適用除外承認申請が必要になったときは、事実の発生した日から必ず14日以内に年金事務所に届け出なければなりませんので、まずは当組合までお問い合わせください。

申請書は、当組合ウェブサイトからもダウンロードできます。<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>
（問合せ先）宮崎県医師国民健康保険組合
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL：0985-22-6588 FAX：0985-27-6550

日医インターネットニュースから

■ B水準病院でも「全医師対象ではない」 — 改革で佐々木医事課長 —

厚生労働省医政局の佐々木健医事課長は10月9日、医師の働き方改革をテーマに東京都内で講演し、2024年度に始まる医師の時間外労働規制の特例として、上限が年1860時間になる「地域医療確保の暫定特例水準（B水準）」について「病院ごとに指定するが、指定されれば全ての診療科の医師に1860時間の上限が認められるわけではない。長時間労働をしていたかざるを得ない分野で三六協定を締結してもらう」と強調した。

24年度に始まる医師の時間外労働の上限規制では、原則が年960時間、B水準と集中的技能向上水準（C水準）は、特例で年1860時間になる。

佐々木課長は「誤解があるので明確にしておく」と前置きし、B水準の病院で働く全ての医師が特例になるわけではないと説明。「従来、原則のA水準で年間の時間外労働が960時間を下回っている人が、B水準の病院に移ったら1860時間働かされるということでは全くない」と述べた。改革の趣旨について「通常の労働者と同程度で働いている医師を長く働かせるのではなく、長時間労働になっている医師の労働時間をできるだけ短縮する改革」であることを訴えた。（令和元年10月11日）

■ 過疎地域への優遇策検討を提言 — 地域医療対策委・中間答申 —

日本医師会の地域医療対策委員会（委員長＝中目千之・山形県医師会長）は10月15日、中間答申を取りまとめ、横倉義武会長に提出した。医師偏在指標、外来医師偏在指標について「あくまで参考値」とし、「それぞれの地域の取り組みを制限するものではないことの明記を

要望する」とした。医師少数区域では、過疎地域の医療を担っている医療機関やかかりつけ医に対する優遇策も検討することが必要と提言した。10月16日の会見で釜范敏常任理事が報告した。

諮問のテーマは「今後の地域における医療提供体制に向けた医師会の役割～地域医療構想、医師確保対策等を中心に～」。これまで5回委員会を開催し、中間答申をまとめた。医師偏在指標については「これまで医師不足とされていた地域が医師多数区域とされる例が見られ、現場に混乱をもたらしており、その計算根拠も明確にされていない」と指摘。必要医師数の基礎となる将来人口の推計値もあるべき国、地方の姿を反映していないとした。医師確保対策はそれぞれの医療圏で質・量の確保が検討されるもので、全国画一的な数値で規制されるものではないと主張した。

外来医師偏在指標についても「都道府県は厚生労働省の示す計算式にのっとり画一的に実施することが求められると誤解する可能性が高い。地域の実情を必ずしも反映しているとは言えない」とし、「結果的に現在の医療提供体制を後退させかねないとも考えられる」と懸念を示した。医師偏在指標と同様に全国画一的な数値で規制されてはならないとし、2次医療圏が対象となっていることについても「かかりつけ医機能と合わせて考えれば、その区域はさらに身近な単位であるべきだ」と提案した。

併せて、休日夜間の初期救急医療や在宅医療、産業医・予防接種などの地域医師会の活動の重要性を強調し、こうした地域医療に貢献している医師への評価も求めた。

● 医師派遣側のインセンティブも検討を

釜范常任理事は中間答申について「厚労省とも情報を共有する。政策に反映していただきたい」と述べた。「制限するものではないことの明記」の具体的な示し方については、都道府県

で画一的に議論されているケースがあるとし、厚労省が都道府県にあらためて通知などを発出するよう求めていくとした。過疎地域の医療を担っている医療機関やかかりつけ医に対する優遇策については「医師派遣をする場合には医師を出す側の病院にも大きな負担がかかる。出す側の病院に対してどのようなインセンティブが可能か議論しなければならない」と考えを示した。

医師偏在対策については「まずは非常に困っているところを見える化すること。それに対してまず都道府県内で最大限の改善の努力をすること。それでどうしても難しいのであれば、国全体でどういう政策が可能なのか考える必要がある」と述べた。（令和元年10月18日）

■タスク・シフト／シェア推進で議論開始 — 厚労省・検討会 —

厚生労働省の「医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト／シェアの推進に関する検討会」（座長＝永井良三・自治医科大学長）は10月23日、初会合を開いた。「医師の働き方改革の推進に関する検討会」が12月に一定の取りまとめを示す予定のため、歩調を合わせて議論する。年内に一定の取りまとめは行うが、来年も引き続き検討する。構成員が自由に意見を述べた初回は、看護師の特定行為研修制度を巡って意見が分かれる場面があった。

「医師の働き方改革に関する検討会」の報告書では、医師の労働時間短縮のために取り組む必要があるとされた項目の一つに、タスク・シフト／シェアが盛り込まれた。厚労省は6月から7月にかけて約30団体からタスクシフトに

関するヒアリングを実施。業務内容や業務量、移管可能な理由などを聞いた。検討会はヒアリング結果を参考に議論し、必要に応じて医療専門職種団体の出席も求める。

厚労省は医師の業務について、医療専門職種が現行制度下で▽実施可能な業務▽明確に示されていない業務▽実施できない業務のうち、十分実施可能で法改正等を行えば実施可能となる業務－に分けて検討を進める案を示した。医療専門職種の法令等をあらためて精査し、明確化する。目的達成に必要な事項とその効果も整理する。構成員から進め方について反対の意見はなかった。

齋藤訓子構成員（日本看護協会副会長）は、現行の特定行為研修制度では対応できないケースがあるとし、限界にきていると指摘。医師の偏在や高齢化、人口減少を考慮し、職種の新設も含めて議論すべきだと主張した。日医の今村聡副会長は医師の働き方改革が進めば、円滑に指示が出せる体制が整う可能性もあるとし、職種新設の主張に懸念を示した。永井座長も「特定行為研修制度の限界が見えたと言うには早い」と述べ、制度をしっかりと動かしていくことが大事だとくぎを刺した。

議論の進め方については、データを示して議論を進めるべきだとの意見が出た。今村構成員はタスクシフトで労働時間がどれだけ削減されるかデータを示してほしいと要望した。権丈善一座長代理（慶応大商学部教授）もデータが重要だとし、医師の労働時間短縮につながるかのイメージを持ちながら議論すべきだと提言した。

（令和元年10月25日）

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。

日本医師会（<http://www.med.or.jp/>）>メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）

◆パスワード：生年月日の「西暦の2桁，月2桁，日2桁」の6桁の数字（半角）



理事会日誌

令和元年9月3日(火) 第10回常任理事協議会

医師会関係 (議決事項)

1. 会費減免申請について

高齢による会費減免1名(日医のみ)が承認された。

2. 業務委託について

①高次脳機能障がい講演会の業務委託契約について

→高次脳機能障がいに関する診断技術の向上を目的に、本会のテレビ会議システムを利用し講演会を開催する事業で、契約を締結することが承認された。

3. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎県障がい者虐待防止・権利擁護連絡会議における委員の推薦について

→障がい者の虐待防止および権利擁護を推進するために設置される連絡協議会で、委員の確認依頼があり、高齢者虐待防止連絡会議の委員を務める石川常任理事を推薦することが承認された。

②宮崎大学医学部附属病院医師研修管理委員会の委員について

→任期満了に伴う外部有識者委員の就任

の依頼で、引き続き河野会長を推薦することが承認された。

4. 後援・共催名義等使用許可について

①12/1(日)(KITENビル) UMK市民公開講座 健康セミナー「肝炎」の後援名義使用承認申請について

→肝炎の早期発見につながる検査とB型・C型肝炎に関する正しい知識などを紹介する健康セミナーで、名義後援を行うことが承認された。

5. 九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会(11/16(土))における日本医師会への質問・要望事項について

11月に佐賀県で開催される横倉日医会長の講演に対する質問事項等の照会で、役員で要望事項等がある場合には事務局を経由して河野会長に提出することが承認された。

6. 令和2年第120回九州医師会医学会分科会の追加について

県透析医会の藤元会長の申出を受け、7/30(火)の九医学準備委員会で決定した9つの分科会に加え、透析学会を開催する方向で調整することが承認された。

7. 12/8(日)(日医) 令和元年度女性医師支援担当者連絡会の開催について

女性医師支援に関する先進的取り組み等について情報共有することを目的に開催する連絡会で、荒木常任理事と金丸常任理事が出席することが承認された。

8. 10/11(金)(日医) 第2回外国人医療対策会議の開催について

外国人への医療提供に関する課題や方策を総合的に検討することを目的に、都道府県医師会外国人医療対策担当理事連絡協議会を兼ねて開催される会議で、担当の金丸常任理事が出席することが承認された。

9. 令和2年度地域医療介護総合確保基金（医療分）に係る事業提案について

県行政の依頼により、事業区分Ⅰの「地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設または設備の整備に関する事業」を中心とする提案を、各郡市医師会、各専門分科医会、県医師会病院部会、県精神科病院協会、県有床診療所協議会に、9月末を締切りに照会することが承認された。

10. 「令和2年度病床機能等分化・連携促進基盤整備事業」および「病床の機能分化・連携を推進するための基盤整備」に係る事業実施意向調査について

医療機関が地域で不足する病棟等への転換を行う際の施設・設備整備に対する補助事業で、各郡市医師会を通じて医療機関への意向調査に協力することが承認された。

11. その他

①一次脳卒中センターについて

→先週の全理事協議会で協議した脳卒中・循環器病対策基本法に伴う「一次脳卒中センター」について、現在、候補施設から指定準備を進めている段階であることが確認できたことから、県脳卒中对策推進委員会が行う事業を承認することとなった。

（報告事項）

1. 8月末日現在の会員数について
2. 8/29(木)（県庁）県医療計画策定委員会について
3. 8/31(土)（佐賀）九医連常任委員会について
4. 9/2(月)（県庁）県立病院事業評価委員会について
5. 8/29(木)（宮観ホテル）損保ジャパン日本興亜との懇談会について
6. 8/31(土)（佐賀）九医連定例委員総会について

7. 8/28(水)・29(木)（東京）情報公開・個人情報保護審査会等委員交流フォーラムについて

8. 9/3(火)（県医）治験審査委員会について

9. 8/29(木)（フィオーレ古賀）県慢性腎臓病対策推進会議（Mz-CKDI）世話人会議について

10. 8/30(金)（東京）地域医療構想アドバイザー会議について

11. 8/30(金)（県医）第2回地域医療構想に関する研修会について

12. 8/31(土)（県医）在宅医療協議会役員会・総会・研修会について

医師連盟関係

（議決事項）

1. 11/24(日)「全国医師会・医師連盟 医療政策研究大会」開催について

日医の医療政策や医政活動の重要性を理解することを目的に開催される大会で、河野委員長と吉田常任執行委員の出席と、郡市医師連盟等の出席者等の取りまとめに協力することが承認された。また、日医連医政活動研究会のメンバーを瀬ノ口理事に交代することが重ねて承認された。

（報告事項）

1. 8/31(土)（佐賀）九州医連連絡会執行委員会について

令和元年9月10日(火) 第11回常任理事協議会

医師会関係

（議決事項）

1. 本会外の役員等の推薦について

①「地域医療構想アドバイザー」への就任について

→各地域の地域医療構想調整会議の活性化と技術的支援を目的に配置されるポストで、引き続き、金丸常任理事

がアドバイザーに就任することが承認された。

- ②宮崎県精度管理専門委員の推薦について
→衛生検査所における検査精度の質的向上と技術支援を行うために配置されている専門委員で、高村常任理事を推薦することが承認された。

2. 宮崎県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会の開催について

11/19(火)に意見交換会を開催することを決定し、今後のスケジュール等の確認が行われた。県に対する要望については、担当役員を決定すると共に各郡市医師会の意見を含め簡潔に取りまとめることとなった。

3. 12/5(木)（日医）令和元年度都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会の開催通知について

日医医賠償保険の経過報告や、付託事案の傾向と審査のポイント等に関する情報共有を目的に開催される協議会で、小牧常任理事が出席することが承認された。また、役員等に対し日医テレビ会議システムを通じての受講を確認することとなった。

4. 令和元年度宮崎県感染症危機管理研修会（予防接種実務担当者研修を含む）について

県内の医療従事者と市町村の担当者等を対象に、予防接種に係る最新の知見、国内外における輸入感染症の動向、新型インフルエンザ等の講演を行う研修会で、テレビ会議システムの利用等を含め、県との共催で開催することが承認された。

5. 業務委託について

- ①令和元年度高齢者インフルエンザ定期予防接種に係る広域契約について
→県内の高齢者が居住市町村以外で予防接種を受けることを可能にする契約

で、接種料金4,344円から各市町村の自己負担額を除いた委託料および予防診療1件あたり200円の事務手数料で、市町村と契約を締結することが承認された。

- ②宮崎県主治医研修の委託契約について
→適切な要介護および要支援認定に資すること等を目的に、主治医意見書の記載方法等の研修を行う事業で、契約を締結することが承認された。

（報告事項）

1. 週間報告について

2. 9/4(水)（宮観ホテル）宮大医学部5年生
未来の医療を語る全員交流会について
3. 9/7(土)・8(日)（三重県）全国医師会共同
利用施設総会について
4. 9/6(金)（日医）日医公衆衛生委員会につ
いて
5. 9/6(金)（県医）自殺対策うつ病研修会につ
いて
6. 9/7(土)（岡山）全国医師会医療秘書学院
連絡協議会会計監査・試験・常任委員会・
総会について
7. 9/9(月)（県医）県糖尿病対策推進会議幹
事会について
8. 9/7(土)（県医）産業医研修会(前期)につ
いて
9. 9/5(木)（県医）在宅医療研修会企画小委
員会について

医師連盟関係

（議決事項）

1. 県議会自民党との意見交換会について

10/31(木)に意見交換会および懇談会を開催することを決定し、県議会自民党議員（24名）等に案内することが承認された。また自民党県連に提出した国政・県政要望の中から医師確保等を中心に意見交換することとなった。

令和元年9月24日(火) 第7回全理事協議会**医師会関係****(議決事項)****1. 医療事故調査支援委員会の委員について**

任期満了(R1.9/30(月))に伴う委員の改選で、本会の医療事故調査支援委員会設置要綱に基づき、新委員1名を含む合計25名の委員を委嘱することが承認された。

2. 本会外の役員等の推薦について

①地方公務員災害補償基金宮崎県支部審査会の委員の推薦について

→地方公務員に対する災害補償の審査会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、川野理事を推薦することが承認された。

②公務災害補償等認定委員会および公務災害補償等審査会の委員の推薦について

→県議会議員を含む非常勤職員に対する災害補償を審議する委員会等で、認定委員会の委員に川野理事、審査会の委員に河野会長を推薦することが承認された。

③宮崎県がん対策審議会委員の推薦について

→がん対策推進計画の策定および本県におけるがん対策の重要事項を審議するために設置された審議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き河野会長を推薦することが承認された。

3. 後援・共催名義等使用許可について

①11/13(水)・14(木) (福岡国際会議場)「九州ホスピタルショウ2019」後援名義使用のお願いについて

→「令和を彩る地域と医療・介護の未来」をテーマに、新しい時代に対応する医療・福祉経営の提案と環境向上に貢献することを目的に開催される展

示イベントで、名義後援を行うことが承認された。

4. 10/1(火) (宮観ホテル) 宮崎大学と宮崎県医師会との懇談会について

役員の役割分担および進行スケジュール並びに出席者の最終確認が行われた。

5. 10/17(木) (JA-AZM) 九州厚生局および宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導の実施に係る立会いについて

4 医療機関を対象に行われる個別指導で、嶋本理事を立会人として派遣することが承認された。

6. 10/31(木) (都城市北諸県郡医師会) 在宅医療と介護に関する研修会における講師の派遣について

医療と介護の連携強化を図ることを目的に、都城市北諸県郡医師会と行政が合同で開催する研修会で、講師として石川常任理事を派遣することが承認された。

7. 第119回九州医師会連合会総会における宣言・決議(案)について

10/5(土)に佐賀県で開催される九医連常任委員会を経て、最終的に11/16(土)の総会に上程される宣言等の原文で、意見があれば事務局を経由して会長に届け出ることとなった。

8. 令和元年度JMAT研修の開催について

災害発生時、被災地の医師会等との協働による医療支援活動の充実に資することを目的に、10/22(火)に日本医師会で開催されるJMAT研修で、救急災害医療担当理事で調整後、出席することが承認された。

9. 12/21(土) (福岡) 九州学校検診協議会第2回専門委員会および九州各県医師会学校担当理事者会の開催について

心臓、腎臓、小児生活習慣病、運動器に分かれて開催する専門委員会に、本会から高木純一先生、宮田純一先生、澤田浩武

先生，高村常任理事が出席することおよび担当者に高村常任理事が出席することが承認された。

10. 業務委託について

①県立学校児童生徒の定期健康診断における結核健康診断業務の変更契約について
→学校医が，定期健康診断の間診等で，結核健診が必要と認めた場合に行われる検査の委託契約で，消費税増税に伴い令和元年10/1(火)から検査料金単価を変更することが承認された。

11. 10/26(土) (山形市) 令和元年度全国医師会勤務医部会連絡協議会の開催について

「待ったなしの働き方改革～勤務医の立場から～」をメインテーマに開催される連絡協議会で，県医師会から嶋本理事と岩村理事が出席することが承認された。

12. 12/7(土) (日医) 令和元年度家族計画・母体保護法指導者講習会の開催について

「母体保護法指定医師が知っておくべき法律知識－よく寄せられる質問・疑問に答えます－」をテーマに開催される講習会で，県医師会から嶋本理事が出席することが承認された。

13. R2.2/1(土)・2(日) (日医) 令和元年度日本医師会医療情報システム協議会の開催について

香川県医師会の企画で「進化する医療ICT」をメインテーマに開催する協議会で，荒木常任理事と嶋本理事が出席することが承認された。

14. 10・11月の行事予定について

10月の追加行事の確認が行われた。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 9/11(水) (支払基金) 支払基金幹事会について

3. 9/17(火) (日医) 都道府県医師会長協議会

について

4. 9/11(水) (県医) 保育サポート会員スキルアップ研修会・交流会について

5. 9/11(水) (県医) 広報委員会について

6. 9/13(金) (わらしべ) 土曜会 (報道機関支局長の会) との意見交換会について

7. 9/20(金) (県医) 広報委員会について

8. 9/21(土) (宮観ホテル) 保育支援事業全体顔合わせ会について

9. 県と県医師会が共同で行う県内医師求人情報検索システムの構築について

10. 9/20(金) (日医) 日医医療秘書認定試験委員会について

11. 9/19(木) (日医) 日医産業保健委員会について

12. 9/14(土) (県医) 園医部会総会・研修会について

13. 9/12(木) (JA-AZM) 社会保険医療担当者の集団的個別指導について

14. 9/19(木) (県医) 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会について

15. 8/28(水) (宮崎労働局) 労災診療指導委員会について

16. 9/4(水)～8(日) (県立美術館) 第20回医家芸術展について

17. 9/5(木) (レミューズ) 医家芸術展出展者との意見交換会について

18. 8/26(月) (県医) 県ロコモティブシンドローム対策協議会について

19. 9/2(月) (県庁) 県周産期医療協議会について

20. 9/7(土) (県医) 県医師会医学会について

21. 9/9(月) (県医) 妊婦健診等に関する協議会について

22. 9/17(火) (県医) 子育て支援フォーラムに関する打合せ会について

23. 9/19(木) (日医) 都道府県医師会情報システム担当理事連絡協議会について

24. 9/19(木) (JA-AZM) 社会保険医療担当者の個別指導について

医師協同組合理事・運営委員合同協議会
(報告事項)

1. 9/24(火) (県医) 医協理事会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 江藤拓氏 農林水産大臣就任祝賀名刺広告 ご協賛のお願いについて

本医師連盟推薦の江藤衆議院議員が、第4次安倍第2次改造内閣で農林水産大臣に就任したことを祝う祝賀広告で、協賛することが承認された。

(報告事項)

1. 9/17(火) (日医) 日医連執行委員会について

2. 9/17(火) (東京) 参議院議員自見はなこさんを励ます会について

医師資格証を持ちましょう

『医師資格証』はHPKI(保健医療福祉分野公開鍵基盤)の枠組みを使った日本医師会認証局が発行する医師資格を証明するカードです

医師資格証は
5年ごとの
更新になりました

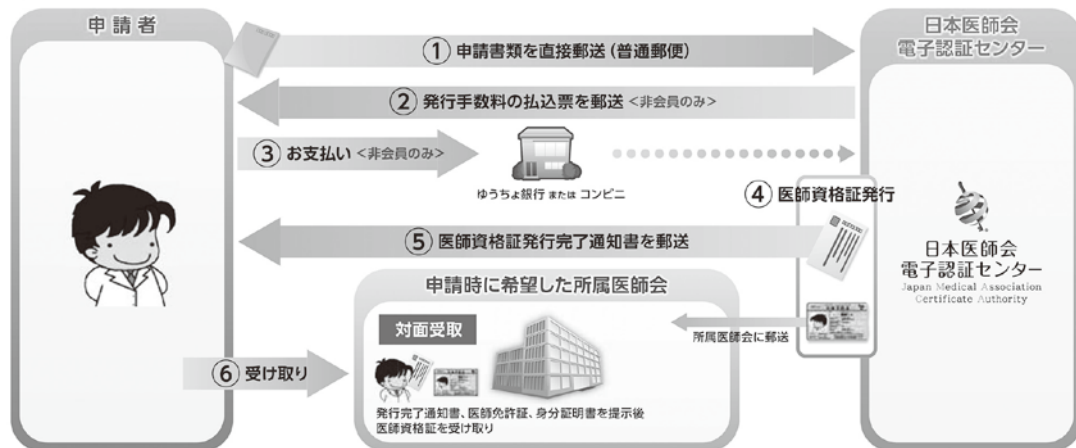
申請方法と
受け取り方法が
変更になりました

年間利用料が
廃止されました

2年ごとの
オンライン更新が
不要になりました

診療情報提供書等への HPKI電子署名に対応しています

医師資格証申請方法



県 医 の 動 き

(10月)

1	第8回全理事協議会（会長他） 宮崎大学と宮崎県医師会との懇談会（会長他）
2	（東京）全国国保組合協会理事長・役員研修会（秦理事長） 県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会（金丸常任理事）
3	県医療勤務環境改善セミナー（TV会議） （会長他）
4	（日医）日医医療秘書認定試験委員会 （池井常任理事） 県再犯防止推進計画検討協議会 （荒木常任理事） 医療安全対策セミナー（河野理事長他）
5	県警察医会総会・特別講演会 （佐賀）九医連常任委員会（会長） （佐賀）九医連第1回各種協議会 （濱田副会長他） （佐賀）九医連各種協議会報告会（会長他）
8	治験審査委員会（荒木常任理事他）
9	宮崎大学医学部解剖体追悼式（濱田副会長） 支払基金幹事会（会長） 県整形外科医会保険審査委員打合せ会議
10	（日医）産業保健活動推進全国会議 （佐々木常任理事） 県産婦人科医会常任理事会（嶋本理事）
11	（日医）外国人医療対策会議（金丸常任理事） 外国人医療対策会議（日医TV会議） 広報委員会（荒木常任理事他）
13	（福岡）eレジフェア（金丸常任理事）
15	第9回全理事協議会（会長他） 各郡市医師会長協議会（会長他）
16	宮崎市郡医師会10月例会並びにしのめ 医学会特別講演会（会長） 宮崎市との妊婦健診等に関する協議会 （濱田副会長他）
17	社会保険医療担当者の個別指導（嶋本理事） 介護保険委員会（石川常任理事他） 丸山県議会議長との意見交換会（会長他）
18	（日医）日医予防接種・感染症危機管理対 策委員会（峰松理事） 県医療計画策定委員会（会長他）

19	ICLS指導者養成ワークショップ （熊本）女性医師支援センター事業九州ブ ロック会議（荒木常任理事他） 母体保護法指定医師研修会（濱田副会長他）
20	ACLS研修会
21	（都城）労災診療費算定実務研修会
22	（日医）統括JMAT研修（岩村理事）
23	広報委員会（荒木常任理事他）
24	妊婦健診等に関する協議会（嶋本理事） 日本股関節学会学術集会会長招宴（会長他） 医師国保組合理事会（秦理事長他）
25	宮崎県ファミリー・サポート・センター アドバイザー等研修会（荒木常任理事） （日医）日医医師会共同利用施設検討委員 会（山村副会長） 県外科医会秋期講演会
26	（山形）全国医師会勤務医部会連絡協議会 （金丸常任理事他） かかりつけ医認知症対応力向上研修会（TV 会議）（石川常任理事）
26 27	（長崎）九州医師協同組合連合会通常総会 （河野理事長他）
27	県小児科医会役員会（高村常任理事） 介護支援専門員の国家資格化に向けたシ ンポジウム（濱田副会長） 県小児科医会秋季学術講演会 （高村常任理事）
28	県医師会地域医療委員会・医師確保対策 委員会合同委員会（会長他）
29	宮大医学部医の倫理委員会（立元理事） 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 （嶋本理事） 医協理事会（河野理事長他） 第12回常任理事協議会（会長他）
30	労災診療指導委員会（川野理事）
31	医療保険請求事務実技試験 社会保険医療担当者の個別指導 （佐々木常任理事） 県議会自民党との意見交換会（会長他） 県議会自民党との懇談会（会長他）

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和元年10月7日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 7人

1) 男性医師求職登録数 7人 (人)

希望診療科目	求 職 数	常 勤	非 常 勤
内 科	5	3	2
麻 酔 科	1	0	1
老 健	1	1	0

2) 女性医師求職登録数 0人 (人)

希望診療科目	求 職 数	常 勤	非 常 勤
	0	0	0

2. 斡旋成立件数 73人 (人)

	男 性 医 師	女 性 医 師	合 計
令 和 元 年 度	2	1	3
平成16年度から累計	52	21	73

3. 求人登録 97件 356人 (人)

募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤
内 科	104	80	24	消 化 器 外 科	3	2	1
外 科	30	24	6	乳 腺 外 科	3	3	0
整 形 外 科	30	24	6	健 診	8	5	3
精 神 科	14	13	1	泌 尿 器 科	4	2	2
脳 神 経 外 科	12	8	4	産 婦 人 科	1	1	0
循 環 器 科	11	8	3	検 診	3	1	2
消 化 器 内 科	15	13	2	皮 膚 科	5	2	3
麻 酔 科	16	12	4	婦 人 科	2	2	0
眼 科	10	8	2	呼 吸 器 外 科	4	3	1
放 射 線 科	12	11	1	人 工 透 析	7	5	2
小 児 科	4	2	2	リ ウ マ チ 科	1	1	0
呼 吸 器 科	3	3	0	臨 床 病 理 科	1	1	0
在 宅 診 療	2	2	0	形 成 外 科	2	1	1
総 合 診 療 科 ・ 内 科	5	4	1	診 療 科 目 不 問	3	3	0
神 経 内 科	8	6	2	緩 和 ケ ア	1	1	0
呼 吸 器 内 科	10	9	1	内 分 泌 糖 尿 病 内 科	2	2	0
リハビリテーション科	4	4	0	そ の 他	7	6	1
救 命 救 急 科	9	9	0	合 計	356	281	75

求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施 設 名	所 在 地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	赤十字センター	宮 崎 市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮 崎 市	脳外,整,放,麻,内	9	常勤・非常勤
160017	医)プレストピア プレストピア宮崎病院	宮 崎 市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮 崎 市	精,内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮 崎 市	呼内,神内,総診,呼外,病理, 乳外,整,麻,代内	9	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮 崎 市	精	1	常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮 崎 市	消内,内分泌内,呼内,リウ, 神内,健診	9	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国 富 町	内,放	2	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮 崎 市	内,神内,整,消内,腫内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮 崎 市	消内,呼内,総診	6	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮 崎 市	内,外	2	常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮 崎 市	眼	1	常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮 崎 市	内,外,救急,呼外,婦人,整,麻	12	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮 崎 市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮 崎 市	整	1	常勤
210128	医)真愛会 高宮病院	宮 崎 市	精	2	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮 崎 市	精	2	常勤
230139	介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国 富 町	内,外	2	常勤
230143	医)社団孝尋会 上田脳神経外科	宮 崎 市	脳外,内	2	常勤
230144	宮崎生協病院	宮 崎 市	呼内,消内,健診,麻	7	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮 崎 市	内,外,整,脳外,リハ,麻,救急, 緩和	13	常勤
230148	医)コムロ美容外科	宮 崎 市	美外,形成外,外,麻	8	常勤・非常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮 崎 市	内,皮	2	非常勤
230164	宮崎県保健所	宮 崎 市	公衆衛生	3	常勤
230175	社会福祉法人 キャンパスの会	宮 崎 市	内,小,整(いずれか)	1	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮 崎 市	内,消内,消外,放(いずれか)	1	常勤
230178	介護老人保健施設 むつみ苑	宮 崎 市	内	1	常勤
230180	一社)藤元メディカルシステム 藤元中央病院	宮 崎 市	内,糖内,呼内,血内	4	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮 崎 市	整,内	2	常勤
230193	医)共生会 杉田眼科医院	宮 崎 市	眼	1	常勤
230194	医)財団シロアム 新城眼科医院	宮 崎 市	眼	2	常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	高 岡 町	内	1	常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都 城 市	内,消内,整,神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ 東部病院	都 城 市	外,脳外,内,透,眼,皮,放, 腎内,総診,泌,整	22	常勤・非常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都 城 市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都 城 市	呼内,総診,消内,腫内	4	常勤
180081	医)恵心会 永田病院	都 城 市	精	2	常勤・非常勤
190092	都城市郡医師会病院	都 城 市	内,呼内,消内	5	常勤
210114	藤元病院	都 城 市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都 城 市	消内,消外,乳外	5	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都 城 市	内	1	常勤
230142	医)魁成会 宮永病院	都 城 市	内,リハ	2	常勤
230153	都城健康サービスセンター	都 城 市	放,消内	1	常勤

登録番号	施 設 名	所 在 地	募集診療科	求人数	勤務形態
230162	藤元総合病院	都 城 市	内,透,循内,救急,放,呼内	12	常勤
230172	医)静雄会 藤元上町病院	都 城 市	内	2	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都 城 市	外	1	常勤
230181	介護老人保健施設 はまゆう	三 股 町	内	1	常勤
230183	医)恵心会 坂元医院	都 城 市	消内,老人内,内	5	常勤・非常勤
230191	医)森山内科・脳神経外科	都 城 市	内	1	非常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都 城 市	内	1	常勤・非常勤
230199	医)社団アブラハムクラブベテスタクリニック	都 城 市	糖内,心内	2	常勤
230202	医)啓仁会 城南病院	都 城 市	内	1	常勤
160012	医)伸和会 共立病院	延 岡 市	外,整,放,内	6	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延 岡 市	精,内	3	常勤・非常勤
160034	特医)健寿会 黒木病院	延 岡 市	消外,消内	2	常勤
190086	早田病院	延 岡 市	消内,循内	2	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延 岡 市	産婦,内,小	3	常勤・非常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内,消外,内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内,小	2	非常勤
230156	医)中心会 野村病院	延 岡 市	内,外	2	常勤
230186	医)隆誠会 延岡保養園	延 岡 市	精	1	常勤
230189	特医)健腎会 おがわクリニック	延 岡 市	泌,透	4	常勤・非常勤
230203	医)杉杏会 杉本病院	延 岡 市	内	1	非常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日 向 市	外,整	4	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内,麻	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美 郷 町	内,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美 郷 町	内,整	2	常勤
230160	日向市立東郷病院	日 向 市	内,整	2	常勤
230200	医)おざきメディカルアソシエイツ尾崎眼科	日 向 市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医)洋承会 今給黎医院	日 向 市	内,循内	2	常勤
160006	都農町国保病院	都 農 町	内,放,外,健診	5	常勤・非常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	内,腎内,麻,総診,外,整,脳外,眼,健診	13	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川 南 町	呼内,循内,糖内,神内,小,整	12	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内	1	常勤
230204	医)昇山会 上山医院	西 都 市	内	1	非常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日 南 市	内	1	非常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日 南 市	内	1	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串 間 市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内,外,整,在宅	4	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	内,外,総診,消内,腎内	5	常勤
230149	介護老人保健施設 おびの里	日 南 市	内	1	常勤
230168	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日 南 市	内	7	常勤・非常勤
230188	医)春光会 日南春光会記念病院	日 南 市	外,内	4	常勤・非常勤
230198	小玉共立外科	日 南 市	不問	2	常勤・非常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内,皮	4	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	救急,総診,放,麻	6	常勤
180076	医)けんゆう会 園田病院	小 林 市	外,循内,整,脳外	9	常勤・非常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小 林 市	精	1	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整,内,脳外	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設 さわやかセンター	小 林 市	内	1	非常勤
230169	医)連理会 和田クリニック	小 林 市	内	2	常勤
230197	医)友光会 整形外科押領司病院	小 林 市	整,内,麻	5	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内,透	3	常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内,外(いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和元年10月7日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番 土地のみ：2,022.17㎡ (612.77坪)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地：2,280.83㎡ (691.16坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ } 1,400.48㎡ (424.38坪) 2階 547.79㎡ } 3階 177.95㎡ } ※別途駐車場あり (20台)	所有者：西都市西児湯医師会員 図師医院跡
	③ 小林市細野59-1 土地：1,098.23㎡ (322.79坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 188.00㎡ } 284.00㎡ (86.06坪) 2階 96.00㎡ } ※駐車場あり (29台)	所有者：西諸医師会員 (医) 桑原皮膚科医院跡
2. 譲渡又は 賃貸物件	① 小林市南西方49番地1 土地：1,991.34㎡ (603.43坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 471.41㎡ } 1,109.76㎡ (336.29坪) 2階 638.35㎡ } ※駐車場あり (30台)	所有者：(医) 社団 産婦人科 生駒クリニック跡
	② 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地：4,449㎡ (1,348.18坪) 建物：鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり (70台)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地：1,654.58㎡ (501.38坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ } 829.40㎡ (251.33坪) 2階 338.70㎡ } 3階 330.69㎡ } 4階 14.25㎡ } ※駐車場あり (50台)	所有者：(医) 社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地：875㎡ (265.15坪) 建物：木造瓦葺平屋建 1階 114㎡ (34.54坪) ※駐車場あり (20台)	所有者：西臼杵郡医師会員 後藤医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 (宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyoku@miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

きりとりせん

お名前：

ご所属：

TEL： FAX：

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和元年10月30日

11			月			
1	金	11:00 (日医) 日医設立記念式典・医学大会 16:00 県医療計画策定委員会	16	土	13:00 (佐賀) 九州医師会総会・医学会 17:00 (京都) 日医医師会将来ビジョン委員会	国 保 審 査 社 保 審 査
2	土	9:00 (日医) 第7回人間を中心とした医療国際会議 16:00 県整形外科医会研修会 16:30 病院部会・医療法人部会合同研修会	17	日	(佐賀) 九医学分科会・記念行事 (京都) 日医医師会将来ビジョン委員会 9:00 世界糖尿病デー県民公開講座 11:00	
3	日	(文化の日) 8:30 県医親善ゴルフ大会 16:00 (東京) 全国医師協同組合通常総会	18	月	19:00 生活習慣病検診従事者研修会 (TV会議) 19:00 医学賞選考委員会 19:00 県医療審議会	
4	月	(振替休日)				
5	火	19:00 第13回常任理事協議会	19	火	18:30 第10回全理事協議会 19:20 県福祉保健部・病院局と 県医師会との意見交換会	
6	水					
7	木	14:00 (日医) 日医学術推進会議	20	水	19:00 広報委員会	
8	金	10:00 県個人情報保護審議会 18:30 宮崎銀行との懇親会 19:00 県感染症危機管理研修会 (TV会議)	21	木	13:30 社会保険医療担当者の個別指導 19:30 宮崎信販との懇談会	
9	土	14:30 産業医研修会 (TV会議)	22	金	14:00 労災診療費算定実務研修会 19:00 認知症サポート医・かかりつけ医 スキルアップ研修会 (TV会議)	
10	日	9:00 県防災訓練 9:00 人体シミュレータを用いた在宅 医療研修会	23	土	(勤労感謝の日) 10:00 (埼玉) 全国学校保健・学 校医大会	
11	月	13:30 みやざき愛の献血運動推進県民大会 16:00 宮大医学部附属病院医師研修管理委員会 19:00 生活習慣病検診従事者研修会 (TV会議)	24	日	13:30 (東京) 全国医師会・医師 連盟医療政策研究大会	
12	火	15:00 県地域医療対策協議会 18:00 治験審査委員会 19:00 勤務医部会理事会	25	月	19:00 医協会計監査 19:00 医師国保組合理事会	
13	水	16:00 支払基金幹事会 19:00 広報委員会			13:30 宮大経営協議会・学長選考会議 18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 18:00 医協理事会 18:30 第11回全理事協議会 終了後 医協理事・運営委員合同協議会 19:00 九医学準備委員会	
14	木	14:00 (日医) 日医産業保健委員会 16:00 県社会福祉審議会児童福祉専門 分科会検証部会 19:00 県医中間監事監査 19:30 県産婦人科医会常任理事会	26	火		
15	金	14:00 県訪問看護推進協議会 15:00 県国保運営協議会 16:00 (佐賀) 九医連常任委員会 17:00 (佐賀) 九医連臨時委員総会	27	水	15:00 労災診療指導委員会	
16	土	10:00 (佐賀) 九医連委員・九州各 県役員合同協議会	28	木	19:00 県産業保健連絡協議会・県産業 医研修連絡協議会	
			29	金	15:00 (日医) 日医医療秘書認定試験委員会 19:00 日医社保指導者講習会伝達講習 会 (TV会議)	
			30	土	15:00 生活習慣病検診従事者研修会 (TV会議)	

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和元年10月30日

12			月		
1	日	9:00 人体シミュレータを用いた在宅医療研修会 14:00 子育て支援フォーラム	15	日	8:00 指導医のための教育ワークショップ
2	月	19:00 奥様医業経営塾特別セミナー	16	月	19:00 西都市西児湯医師会忘年会
3	火	18:00 治験審査委員会 19:00 第14回常任理事協議会	17	火	18:00 医協理事会 18:30 第12回全理事協議会 終了後 医協理事・運営委員合同協議会 19:00 役職員懇談会(予定)
4	水	14:30 (東京)全国医師国保組合連合会国保問題検討委員会 19:00 都城市北諸県郡医師会忘年会	18	水	19:00 延岡市医師会会員忘年会
5	木	13:30 都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会(日医TV会議) 13:30 (日医)都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会 14:30 (日医)日医小児在宅ケア検討委員会	19	木	19:00 医師会立看護学校担当理事連絡協議会
6	金	14:00 (東京)国民医療を守るための総決起大会 15:00 (日医)日医公衆衛生委員会	20	金	13:00 県歯科保健推進協議会 19:00 宮崎産業保健総合支援センター忘年会
7	土	13:45 県プライマリ・ケア研究会世話人会・総会・研修会	21	土	15:00 (福岡)九州学校検診協議会専門委員会
8	日	13:00 (日医)女性医師支援担当者連絡会	22	日	
9	月	19:00 高次脳機能障がい講演会(TV会議)	23	月	
10	火		24	火	19:00 第15回常任理事協議会
11	水	16:00 支払基金幹事会 19:00 広報委員会 19:00 日医認定産業医制度関係小委員会	25	水	15:00 労災診療指導委員会 18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会
12	木		26	木	
13	金	19:00 広報委員会	27	金	
14	土	9:00 指導医のための教育ワークショップ 18:00 県産婦人科医会全理事会	28	土	
			29	日	(年末休業)
			30	月	(年末休業)
			31	火	(年末休業)

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
延岡医学会学術講演会 11月1日(金) 19:00～20:30 エンシティホテル 延岡	延岡市のC型肝炎治療の現状 共立病院 院長 赤須 郁太郎	8 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 延岡市西臼杵郡薬剤師会 大塚製薬(株) 武田薬品工業(株) ◇後援 延岡内科医会 (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
	逆流性食道炎治療の最前線 新別府病院 消化器内科部長 後藤 康彦	52 (1.0)	
第29回宮崎県肺癌研究会 11月1日(金) 19:00～21:00 ガーデンテラス宮崎 参加費：500円	肺扁平上皮がんの治療戦略－アブラキサンを中心に－ 名古屋医療センター 呼吸器内科 小暮 啓人	9 (0.5) 45 (0.5)	◇主催 宮崎県肺癌研究会 ◇共催 ※大鵬薬品工業(株) ☎0985-27-4527 ◇後援 宮崎県医師会
宮崎県整形外科医 会研修会 11月2日(土) 16:00～18:00 県医師会館	全国整形外科保険審査委員会議報告について 宮崎県国民健康保険診療報酬 審査委員 税所 幸一郎 宮崎県社会保険診療報酬支払基金 審査委員 渡邊 信二	9 (1.0)	◇主催 宮崎県整形外科医会 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	運動器疾患診療における医療安全：ピットフォールに 陥らないために 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座整形外科学分野 教授 帖佐 悦男	7 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第186回宮崎県眼科 医会講習会 11月3日(日) 10:00～13:15 宮崎観光ホテル 参加費:3,000円	外転神経麻痺のみかた 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座眼科学分野 准教授 中馬 秀樹	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 ノバルティスファーマ(株)
	網膜色素変性に関する最近のトピックス 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座眼科学分野 教授 池田 康博	36 (1.0)	
都城市北諸県郡医 師会内科医会学術 講演会 11月7日(木) 19:00～20:30 都城ロイヤルホテル	当科における最近のBPH, OAB治療 都城医療センター 泌尿器科 医長 山崎 丈嗣	65 (0.5)	◇主催 都城市北諸県郡医師会内科医会 ◇共催 アステラス製薬(株) (連絡先) 都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711
	便秘の診療－慢性便秘症ガイドラインの解説－ 宮崎大学医学部 内科学講座循環体液制御学分野 講師・病院教授 稲津 東彦	54 (0.5)	
宮崎県医師会産業 医研修会 11月8日(金) 19:00～21:00 延岡市医師会病院	職場における糖尿病対策 産業保健相談員 日南市立中部病院 副院長 中津留 邦展 生涯研修の専門研修会:2単位	5 (0.5)	◇主催 ※宮崎県産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
		11 (0.5)	
		76 (0.5)	
		82 (0.5)	
令和元年度宮崎県 感染症危機管理・ 予防接種実務担当 者研修会 【TV会議】 11月8日(金) 19:00～21:00 県医師会館【TV会 議場:都城, 延岡, 日向, 児湯, 西都, 南那珂, 西諸, 西 臼杵】	【専門医共通講習－②感染対策(必修)】 予防接種に係る最新の知見等について 日本ワクチン産業協会 上村 浩	8 (1.0)	◇主催 宮崎県医師会 ◇共催 宮崎県 (連絡先) 宮崎県健康増進課感染症対策室 ☎0985-44-2620
	【専門医共通講習－②感染対策(必修)】 国内外における輸入感染症の動向と新型インフルエン ザ等について 国立感染症研究所 感染症疫学センター第一室 室長 松井 珠乃	8 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業医研修会 【TV会議】 11月9日(土) 14:30～18:30 県医師会館【TV会議場:都城, 延岡, 日向, 児湯, 西都, 南那珂, 西諸】	働き方改革と産業医の職務 産業医科大学 産業生態科学研究所 産業保健管理学 教授 堀江 正知 基礎研修の後期研修会: 2単位 生涯研修の更新研修会: 2単位 ----- 治療と仕事の両立支援 東京慈恵会医科大学医学部 環境保健医学講座 教授 柳澤 裕之 基礎研修の後期研修会: 2単位 生涯研修の専門研修会: 2単位	6 (1.0) 12 (1.0) ----- 11 (1.0) 13 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
第61回宮崎県スポーツ学会 11月9日(土) 15:00～18:30 宮崎大学創立330 記念交流会館 参加費: 1,000円	スポーツ障害を改善するための着眼点について 松戸整形外科病院 副院長 リハビリテーションセンター長 遊佐 隆 ----- 暑熱環境下の育成年代サッカー選手における医学的処置・対応と水分補給について 立教大学 コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科 教授 加藤 晴康 ----- アスリート頸部障害, 腰痛のマネジメント 筑波学園病院 整形外科・リハビリテーション科 部長 坂根 正孝	61 (0.5) 62 (0.5) ----- 19 (0.5) 66 (0.5) ----- 59 (0.5) 60 (0.5)	◇主催 宮崎県スポーツ学会 ◇共催 久光製薬(株) ◇後援 宮崎県医師会 (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986
“皮膚の日”講演会 11月10日(日) 14:00～15:30 宮日会館	健康長寿のためにビタミン(13種)のことを精しく知ろう 青木皮膚科 出盛 允啓	9 (1.0) 11 (0.5)	◇主催 宮崎県皮膚科医会 ◇後援 日本臨床皮膚科医会 宮崎県医師会 (連絡先) 青木皮膚科 ☎0985-23-2011

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
令和元年度宮崎県 医師会生活習慣病 検診従事者研修会 (がん検診指定研 修会)【TV会議】 11月11日(月) 19:00～21:00 県医師会館【TV会 議場:都城,延岡, 日向,児湯,西都, 南那珂,西諸】	局所進行肺癌の外科治療 宮崎県立宮崎病院 外科 部長 別府 樹一郎	7 (0.5) 肺	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県
	乳がん検診 宮崎県立宮崎病院 外科部長兼医療安全管理科 部長 大友 直樹	11 (0.5) 乳	
	胃癌の診断と治療 宮崎大学医学部附属病院 臨床腫瘍科 助教 中島 孝治	12 (0.5) 胃	
	生活習慣病と大腸癌 潤和会記念病院 副院長・外科部長 佛坂 正幸	82 (0.5) 大腸	
令和元年度児湯医 師会在宅医療従事 者のための研修会 11月12日(火) 18:30～20:00 ホテル四季亭	在宅医療レポート 宮崎ホームケアクリニック 院長 長澤 伸二	12 (0.5) 13 (0.5) 80 (0.5)	◇主催 ※児湯医師会 ☎0983-22-1641 ◇共催 児湯医療介護連携室
第66回ひむか運動 器セミナー 11月13日(水) 19:00～20:30 宮崎観光ホテル 参加費:500円	骨粗鬆症の病態の理解に基づく治療法の選択肢 熊本大学 生命科学研究部整形外科 教授 宮本 健史	59 (0.5) 77 (0.5)	◇主催 ひむか運動器セミナー ◇共催 ※アステラス製薬㈱ ☎0985-61-1537
佐土原地区医師会 学術講演会 11月13日(水) 19:00～20:10 シーガイアコンベ ンションセンター	インフルエンザの適切な診療を考える。 鹿児島大学 医歯学総合研究科微生物学分野 教授 西 順一郎	8 (1.0)	◇主催 佐土原地区医師会 ◇共催 ※塩野義製薬㈱ ☎0985-27-1041

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 11月14日(木) 19:00～21:00 県医師会館	ストレスチェックテスト後の面談－認知行動療法編－ 産業保健相談員 都城新生病院 前原 正法 生涯研修の専門研修会：2単位	0 (0.5) 1 (0.5) 7 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
糖尿病と脂肪肝 11月14日(木) 19:00～20:40 ホテルJALシティ 宮崎	インスリン標的臓器としての肝臓 都城医療センター 副院長 吉住 秀之 ----- 糖尿病と肝発がんリスク －FIB-4indexの有用性について－ 大分循環器病院 消化器内科 副院長 清家 正隆	76 (0.5) ----- 73 (1.0)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※大正製薬(株) ☎092-451-7884
第53回都城画像診断 研究会学術講演会 11月15日(金) 19:00～20:15 ホテル中山荘 参加費：500円	頭部MRI入門これひっかけますか？ 鹿児島大学 医歯学総合研究科放射線診断治療学分野 教授 吉浦 敬	30 (0.5) 31 (0.5)	◇主催 都城市北諸県郡医師 会放射線科医会 ◇共催 バイエル薬品(株) (連絡先) 都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711
令和元年度宮崎県 医師会生活習慣病 検診従事者研修会 (がん検診指定研 修会)【TV会議】 11月18日(月) 19:00～21:00 県医師会館【TV会 議場：都城，延岡， 日向，児湯，西都， 西諸，西臼杵】	局所進行肺癌の外科治療 宮崎県立宮崎病院 外科 部長 別府 樹一郎 ----- 乳がん検診 宮崎県立宮崎病院 外科部長兼医療安全管理科 部長 大友 直樹 ----- 胃癌の診断と治療 宮崎大学医学部附属病院 臨床腫瘍科 助教 中島 孝治 ----- 生活習慣病と大腸癌 潤和会記念病院 副院長・外科部長 佛坂 正幸	7 (0.5) ⑦ ----- 11 (0.5) ⑧ ----- 12 (0.5) ⑨ ----- 82 (0.5) ⑩	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
西臼杵郡医師会学 術講演会 11月19日(火) 19:00~20:00 ホテル高千穂	良好な血糖コントロールと合併症予防を目指した糖尿 病治療について 延岡市医師会病院 内科 松尾 崇	7 (0.5)	◇主催 ※西臼杵郡医師会 ☎0982-73-2010 ◇共催 延岡市西臼杵郡薬剤師会 日本イーライリリー(株) 日本ベーリンガーイン ゲルハイム(株)
	CKD対策のこれまでとこれから ーSGLT2阻害薬の使い方と注意点ー 熊本大学 生命科学研究部腎臓内科講座 講師 栗原 孝成	73 (0.5)	
第34回児湯内科医 会学術講演会 11月19日(火) 19:10~20:10 ホテル四季亭	腎症合併糖尿病の治療戦略 宮崎大学医学部 血液・血管先端医療学講座 教授 藤元 昭一	74 (0.5)	◇主催 児湯内科医会 ◇共催 田辺三菱製薬(株) (連絡先) 児湯医師会 ☎0983-22-1641
		76 (0.5)	
西諸医師会・西諸 内科医会合同学術 講演会 11月21日(木) 19:00~20:30 ガーデンベルズ小林	バゼドキシフェンの新たな魅力 ー新たに分かった骨細胞にまで広がる骨微小環境への 働きと日本における使用実態ー ファイザー株式会社 骨粗鬆症エリア推進チーム 担当部長 江田 誉	77 (0.5)	◇主催 ※西諸医師会 ☎0984-23-2113 ◇共催 西諸内科医会 にしもろ薬剤師会 ファイザー(株)
	運動器慢性疼痛の患者と向き合う痛み治療アプローチ 宮崎大学医学部附属病院 整形外科 助教 黒木 修司	59 (0.5) 60 (0.5)	
令和元年度第2回 目予防接種勉強会 11月21日(木) 19:00~20:00 宮崎市郡医師会館	予防接種ガイドライン2019年度の変更点と最近の話題 いわさき小児科 院長 岩崎 直哉	1 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434
南那珂医師会生涯 教育医学会 11月22日(金) 18:50~20:00 南那珂医師会館	糖尿病症例の長期予後改善を目指して ー食後のパラメーターに要注意ー 宮崎大学医学部 内科学講座神経呼吸内分泌代謝学分野 学部講師 上野 浩晶	76 (1.0)	◇主催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411 ◇共催 大日本住友製薬(株)

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第15回認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会 【TV会議】 11月22日(金) 19:00～21:00 県医師会館【TV会議場:都城, 延岡, 日向, 児湯, 西都, 西諸, 西臼杵】	鑑別診断について 吉田病院 認知症疾患医療センター センター長 富田 精一郎	29 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県認知症疾患医療センター
	認知症の鑑別疾患・難聴・治療 吉田病院 精神科・耳鼻咽喉科 清水 謙祐	29 (0.5)	
	認知症専門医ではない医師が一般外来診療で対応に困るケース 大貫診療所 院長 榎本 雄介	29 (0.5)	
	総合討論 吉田病院 認知症疾患医療センター センター長 富田 精一郎 他	29 (0.5)	
第140回宮崎心臓病研究会 11月25日(月) 18:50～20:30 宮崎観光ホテル	当院におけるACS後の脂質低下療法とLDL低下療法後の残余リスクに迫る 宮崎市郡医師会病院 循環器内科 医長 小岩屋 宏	15 (0.5)	◇主催 宮崎心臓病研究会 ◇共催 日本メドトロニック(株) 興和(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-24-9119
	閉塞性肥大型心筋症の侵襲的治療 川崎幸病院 副院長・心臓センター長 心臓外科主任部長 高梨 秀一郎	43 (0.5)	
第35回児湯内科医会学術講演会 11月26日(火) 19:00～20:00 ホテル四季亭	市内病院における間質性肺炎診療の実際 西都児湯医療センター 内科部長兼診療部長 床島 真紀	19 (0.5)	◇主催 児湯内科医会 ◇共催 日本ベーリンガーインゲルハイム(株) (連絡先) 児湯医師会 ☎0983-22-1641
		45 (0.5)	
第38回国立病院機構宮崎病院医療セミナー 11月26日(火) 19:00～20:00 ホテル竹乃屋	実施診療で注意すべき運動疾患 ー診療で落とし穴に入らないためにー 宮崎大学医学部 整形外科リハビリテーション科 教授 帖佐 悦男	1 (0.5) 19 (0.5)	◇主催 国立病院機構宮崎病院 ◇後援 ※児湯医師会 ☎0983-22-1641 児湯内科医会
宮崎木曜会年末学術講演会(大腸がん検診研修会) 11月28日(木) 19:30～20:30 MRT-micc	これからの効率の良い大腸がん検診のために ー内視鏡検査, CT colonographyの位置づけー 大腸肛門病センター高野病院 副院長 野崎 良一	11 (1.0) (大腸)	◇主催 宮崎木曜会 ◇共催 ※EAファーマ(株) ☎092-283-7250

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎市産婦人科 医会11月学術講演会 11月28日(木) 19:30～20:30 ホテルJALシティ 宮崎	生殖ライフサイクルから少子化を考える －女性の妊孕性、魅力、子宮筋腫を含めて－ 大分大学医学部 産科婦人科学講座 教授 榎原 久司	0 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 宮崎市産婦人科医会 ◇共催 あすか製薬(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434
令和元年度日本医 師会社保指導者講 習会【TV会議】 11月29日(金) 19:00～21:10 県医師会館【TV会 議場:都城, 延岡, 日向, 児湯, 西都, 南那珂, 西諸】	指定難病update 宮崎県立宮崎病院 内科 医長 上田 尚靖 宮崎大学医学部 内科学講座 松元 信弘 神経呼吸内分泌代謝学分野 助教 斉田 和子 国立病院機構宮崎東病院 神経内科 医長	6 (2.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
延岡医学会学術講 演会 11月29日(金) 19:00～20:15 エンシティホテル 延岡	脂質異常症の最新動向 －映像で見る動脈硬化の新知見と異所性脂肪－ 徳島大学 医歯薬学研究部循環器内科学分野 教授 佐田 政隆	75 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 延岡市西臼杵郡薬剤師会 MSD(株) バイエル薬品(株) ◇後援 延岡内科医会 (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
不眠症セミナー 11月29日(金) 19:00～21:10 ホテルスカイタワー	睡眠薬・抗不安薬の始め方, しまい方 宮崎大学医学部 臨床神経科学講座精神医学分野 教授 石田 康	20 (1.0) 69 (1.0)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 エーザイ(株) ☎0120-232-075
第10回宮崎PEEC コースin小林 11月30日(土) 13:00～17:00 小林保健所	救急現場における精神科的問題の初期対応 宮崎大学医学部 臨床神経科学講座精神医学分野 講師 三好 良英	13 (1.0) 68 (1.0) 69 (1.0) 70 (1.0)	◇主催 宮崎大学 ◇共催 宮崎県 日本臨床救急医学会 (連絡先) 宮崎大学医学部臨床 神経科学講座 ☎0985-85-2969

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
令和元年度宮崎県 医師会生活習慣病 検診従事者研修会 (がん検診指定研 修会)【TV会議】 11月30日(土) 15:00～17:00 県医師会館【TV会 議場:都城,延岡, 日向,児湯,西都, 西諸】	局所進行肺癌の外科治療 宮崎県立宮崎病院 外科 部長 別府 樹一郎	7 (0.5) ⑦	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県
	乳がん検診 宮崎県立宮崎病院 外科部長兼医療安全管理科 部長 大友 直樹	11 (0.5) ⑧	
	胃癌の診断と治療 宮崎大学医学部附属病院 臨床腫瘍科 助教 中島 孝治	12 (0.5) ⑨	
	生活習慣病と大腸癌 潤和会記念病院 副院長・外科部長 佛坂 正幸	82 (0.5) ⑩	
2019年度第2回日本 東洋医学会福岡・ 宮崎合同県部会宮 崎中継 11月30日(土) 15:00～18:20 宮崎大学医学部総 合教育研究棟 参加費:3,000円	四物湯が情動に及ぼす影響 飯塚病院 漢方診療科 部長 日本東洋医学会福岡県部会 会長 田原 英一	69 (0.5)	◇主催 ※日本東洋医学会九 州支部宮崎県部会 ☎0985-85-0988 ◇共催 日本東洋医学会九州 支部福岡県部会 宮崎県東洋医会
	気の異常からみたストレスと漢方 九州大学医学研究院 地域医療ユニット 准教授 貝沼 茂三郎	83 (0.5)	
	こころと漢方ー身心一如の医学ー 東海大学医学部 専門診療学系漢方医学 教授 新井 信	18 (0.5)	
実践的認知症セミ ナー 12月1日(日) 10:00～11:30 ホテル四季亭	希望が生まれる認知症診療 あやか内科クリニック 院長 白土 綾佳	13 (0.5) 29 (1.0)	◇主催 ※児湯医師会 ☎0983-22-1641 ◇共催 児湯内科医会 認知症を学ぶ会 (株)グロービア
西臼杵郡医師会学 術講演会 12月3日(火) 19:00～20:00 ホテル高千穂	逆流性食道炎 治療最近の話題及びLDAの消化管出血の 対策について 都城医療センター 消化器内科医長 消化器病センター長 駒田 直人	51 (0.5) 52 (0.5)	◇主催 ※西臼杵郡医師会 ☎0982-73-2010 ◇共催 延岡市西臼杵郡薬剤師会 大塚製薬(株) 武田薬品工業(株)

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 12月4日(水) 19:00～21:00 県医師会館	精神疾患と自殺対策 産業保健相談員 中村クリニック 院長 中村 究 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 11 (0.5) 69 (0.5) 70 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 12月7日(土) 13:30～15:30 シーガイアコンベンションセンター	石綿（アスベスト）関連疾患診断技術研修会（専門研修「石綿関連疾患胸部画像の読影実習」） 和歌山労災病院 呼吸器内科 部長 辰田 仁美 旭労災病院 呼吸器内科部長兼アスベスト疾患 ブロックセンター長 加藤 宗博 生涯研修の実地研修会：2単位	9 (0.5) 45 (0.5) 46 (0.5) 79 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県プライマリ・ ケア研究会世話人 会・総会・研修会 12月7日(土) 13:45～16:45 県医師会館	病院で暴言，暴力，クレームに出会ったら 宮崎大学医学部 地域医療・総合診療医学講座 教授 吉村 学 他	4 (1.0) 10 (1.0)	◇主催 宮崎県プライマリ・ケア研究会 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
第13回はまゆう整 形外科セミナー 12月7日(土) 17:45～18:45 宮崎観光ホテル	骨折治癒にかかわる因子の研究 ー整形外科基礎研究によって得られたものー 宮崎大学医学部 整形外科学教室 講師 船元 太郎 ----- 関節外科の変遷 宮崎県立日南病院 主任部長 松岡 知己	61 (0.5) 57 (0.5)	◇主催 ※宮崎大学医学部整形 外科学教室同門会 ☎0985-85-0986
令和元年度高次脳 機能障がい講演会 【TV会議】 12月9日(月) 19:00～21:00 県医師会館【TV会 議場：都城，延岡， 日向，児湯，西都， 南那珂，西諸，西臼杵】	高次脳機能障害者にとって主体性が重要 三軒茶屋内科リハビリテーションクリニック 院長 長谷川 幹	29 (1.0) 78 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 12月12日(木) 14:00～16:00 県医師会館	ストレスチェックテスト後の面談 ーエゴグラムとOKグラムを追加してー 産業保健相談員 都城新生病院 前原 正法 生涯研修の専門研修会：2単位	0 (0.5) 1 (0.5) 5 (0.5) 7 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
西都市西児湯内科 医会学術講演会 12月12日(木) 19:00～20:00 ホテルプリムローズ 西都	脳神経外科臨床におけるDOAC使用のヒント 中村記念病院 脳神経外科診療本部長 脳卒中センター センター長 上山 憲司	12 (0.5) 43 (0.5)	◇主催 西都市西児湯内科医会 ◇共催 ※西都市西児湯医師会 ☎0983-43-1687 西都地区薬剤師会 ファイザー(株) プリストル・マイヤーズ スクイブ(株)
第7回在宅医療推 進のための連携・ スキルアップ研修会 12月12日(木) 19:00～20:00 県医師会館	生活期リハビリテーション ー訪問リハビリテーションの視点からー いしかわ内科 訪問リハビリテーション室 室長 垣内 透	80 (1.0)	◇主催 宮崎市郡在宅医会 (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-24-9119
宮崎市郡医師会産 業医研修会 12月14日(土) 14:15～17:20 宮崎市郡医師会館	腰痛管理のための3管理 三財病院 副院長 松本 英裕 基礎研修の後期研修会：1.5単位 生涯研修の専門研修会：1.5単位	11 (0.5) 60 (1.0)	◇主催 ※宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434
	産業現場でのメンタルヘルス関連業務に対する注意点 いわきりこころのクリニック 院長 岩切 美千代 基礎研修の後期研修会：1.5単位 生涯研修の専門研修会：1.5単位	0 (0.5) 70 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第29回ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー 12月14日(土) 15:25～19:00 宮崎観光ホテル 参加費:1,000円	股関節のキネマティクスから見た変形性関節症の治療 山口大学医学系研究科 整形外科学 教授 坂井 孝司	61 (0.5) 62 (0.5)	◇主催 ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー ◇共催 ※中外製薬(株) ☎0985-20-8118
	腫瘍脊椎骨全摘術の適応と実際 名古屋市立大学医学研究科 整形外科学分野 教授 村上 英樹	59 (0.5) 63 (0.5)	
	脊椎の低侵襲手術 －薬剤による骨折予防を含めた高齢者の手術侵襲低減を目指して－ 東邦大学医学部 整形外科学講座 主任教授 高橋 寛	60 (0.5) 77 (0.5)	
第187回宮崎県眼科医会講習会 12月14日(土) 16:00～19:15 ホテルJALシティ宮崎 参加費:3,000円	緑内障における隅角検査 大分大学医学部 眼科学講座 教授 久保田 敏明	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 大塚製薬(株)
	糖尿病黄斑浮腫 九州大学 理事・副学長 石橋 達朗	36 (1.0)	
疼痛緩和のための医療用麻薬適正使用推進講習会 12月21日(土) 15:00～18:15 宮日会館	緩和薬物療法における薬剤師の役割 宮崎大学医学部附属病院 薬剤部 畑中 真理	10 (0.5)	◇主催 ※麻薬・覚せい剤乱用防止センター ☎03-3581-7436 ◇共催 厚生労働省 宮崎県 ◇後援 宮崎県医師会 宮崎県薬剤師会 宮崎市郡医師会
	医療用麻薬の適正使用とは？：オピオイドクライシスから何を学ぶのか 獨協医科大学医学部 麻酔科学講座 主任教授 山口 重樹	4 (0.5) 15 (0.5)	
	パネルディスカッション：医療用麻薬の適正使用 潤和会記念病院 ペインクリニック・緩和ケア科部長 田中 信彦	0 (0.5)	
	他		

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第79回宮崎整形外科懇話会 12月21日(土) 18:00～19:00 県医師会館 参加費：1,000円	脆弱性に伴う股関節周囲骨折に対する新しい治療法 久留米大学医学部 整形外科学教室 教授 白濱 正博	61 (1.0)	◇主催 宮崎整形外科懇話会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 大正製薬(株) (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986
令和元年度医療従事者向け認知症対応力向上研修会【TV会議】 1月16日(木) 19:00～20:30 県医師会館【TV会議場：都城，延岡，日向，児湯，西都，南那珂，西諸，西臼杵（予定）】	医療従事者向け認知症対応力向上研修 協和病院 認知症疾患医療センター センター長 二宮 嘉正	13 (0.5) 29 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県認知症疾患医療センター
第85回宮崎大学眼科研究会 1月19日(日) 10:00～12:30 宮崎観光ホテル 参加費：2,000円 （予定）	俺の硝子体手術－最近の網膜硝子体手術の理論と実際－ 愛知医科大学 眼科学講座 主任教授 瓶井 資弘	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎大学医学部眼科学教室 ☎0985-85-2806 ◇共催 バイエル薬品(株)
	眼科の最近の話題：人工知能など 鹿児島大学医学部 眼科学教室 教授 坂本 泰二	36 (1.0)	
宮崎県医師会産業医研修会 1月23日(木) 19:00～21:00 県医師会館	この1年間の産業保健の動向 －厚生労働省・報道発表資料と通達から－ 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 矢崎 武 生涯研修の更新研修会：2単位	3 (0.5) 7 (0.5) 8 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
令和元年度宮崎県 医師会緩和ケアチ ーム研修会 1月26日(日) 9:00～17:00 県医師会館 参加費:2,000円	【専門医共通講習－①医療倫理(必修)】※申請中 困難事例の意思決定支援の実践－秘伝お伝えします－ 聖隷三方原病院 がん看護専門看護師 佐久間 由美 他	2 (2.0) 4 (0.5) 5 (0.5) 10 (0.5) 81 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
2019年度九州・沖 縄地区リウマチの 治療とケア教育研 修会 1月26日(日) 9:00～17:00 ホテルJALシティ 宮崎 参加費 日本リウマチ財団 登録医:7,000円 一般医:10,000円	リウマチ性疾患における看護師の役割 池井病院 看護師 落合 麻衣子 他 関節リウマチの最近の話題 産業医科大学医学部 第1内科学講座 教授 田中 良哉 生物学的製剤治療中の感染症対策 市民の森病院 副院長 膠原病・リウマチセンター 所長 日高 利彦 腎不全合併患者におけるリウマチ治療 熊本再春医療センター リウマチ科 部長 森 俊輔 他 SLEの診断と治療UPDATE 九州大学病院別府病院 内科 教授 病院長 堀内 孝彦 他	10 (1.0) 61 (1.0) 8 (1.0) 9 (1.0) 1 (1.0) 28 (1.0)	◇主催 日本リウマチ財団 ◇共催 ※中外製薬(株) ☎0985-20-8118

医師の求人・求職は 日本医師会 女性医師バンク をご利用ください！

日本医師会女性医師バンクは厚生労働省の委託事業です。
登録から紹介・成立まで、費用はすべて無料で利用できます。



女性医師バンクが選ばれる3つのポイント

ポイント

1

登録～成立まで費用はすべて無料

登録料、情報掲載料、紹介手数料、成立手数料、相談・サポートなど、
すべて無料でご利用いただけます。

ポイント

2

専任のコーディネーターによるサポート体制

経験豊富な専任のコーディネーターが、紹介～成立後の相談まで
きめ細かにサポートいたします。

ポイント

3

日本全国、日本医師会の会員・非会員を問わず利用が可能

まずはお気軽にご相談ください！

☎03-3942-6512 (平日10:00～17:00)

詳しくはWebサイトをご覧ください

日本医師会女性医師バンク

検索

日本医師会女性医師バンク 中央センター 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館B1F

診療メモ

児童相談所における児童虐待対応

宮崎県中央児童相談所 なか ざわ きよみ
中 澤 紀代美

1 はじめに

児童相談所では、児童（満18歳に満たない者）に関する様々な相談に応じ、必要な調査、判定を行い、児童福祉施設への入所や児童またはその保護者への相談援助活動などを行っています。産後の子の養育に不安があるケースなどは妊娠前から市町村や医療機関等と一緒に関わっていく場合があります。

2 本県の児童相談所

県内には、宮崎市、都城市、延岡市に計3か所の児童相談所が設置されています（表1）。また、「児童相談所は、必要に応じ、児童を一時保護する施設（一時保護所）を設けなければならない」とあり、必置にはなっておりませんが、本県はすべての児童相談所に一時保護所が付設されていることから、必要な保護が速やかにでき、かつ、担当職員は保護児童と頻回に面接して関係を築くことができることから、処遇を判断する上でも恵まれていると言えます。

表1 児童相談所と管轄区域

児童相談所名	管 轄 地 域
中央児童相談所	宮崎市,日南市,西都市,東諸県郡,児湯郡
都城児童相談所	都城市,小林市,串間市, えびの市,北諸県郡,西諸県郡
延岡児童相談所	延岡市,日向市,東臼杵郡,西臼杵郡

3 児童虐待相談の現状

児童相談所は、子どものあらゆる相談に応じる機関ですが、最近では、「児童相談所＝（イコール）虐待」というイメージがあるのではないのでしょうか。

「児童虐待」というと、叩く、蹴るといった暴力行為を思い浮かべますが、その行為は暴言や食事を与えないなど様々で、①身体的虐待、②性的虐待、③ネグレクト、④心理的虐待の4つに分類されます（表2）。

表2 虐待の種類

虐待類型	具 体 例
身体的虐待	殴る、蹴る、投げ落とす、激しく揺さぶる、火傷を負わせる、首を絞める、等
性的虐待	子どもへの性的行為、性的行為を見せる、性器を触るまたは触らせる、ポルノグラフィの被写体になる、等
ネグレクト	家に閉じ込める、食事を与えない、酷く不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気でも通院させない、等
心理的虐待	言葉による脅し、無視や拒否的な態度、兄弟姉妹間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力を振るう（DV）、等

平成30年度の県内児童相談所における児童虐待相談対応件数は1,379件と過去最多で年々増加している状況にあります（図1）。特に平成29年度からは、児童の面前で配偶者等に暴力を振るい（面前DV）、警察が臨場したケースを「心理的虐待」として児童相談所に通告書を交付するようになったため、相談種別では「心理的虐待」が、虐待相談経路別では「警察等」が著しく増えています（図2、図3）。

4 児童虐待対応の体制と連携

子どもの安全確認は、原則、通告受理後48時間以内に目視にて行うこととされているため、すべての児童相談所では365日24時間対応ができる体制をとっています。各児童相談所ごとに相談支援の担当となるリーダー（2～3名）が、1週間交代で公用携帯を所持し、昼間の勤務に引き続き夜間休日の通告について電話対応をします。また、緊急出動に備え児童福祉司や一時保護所の職員もシフトを組んでいます。

一般的に児童相談所が虐待通告を受けた場合は、市町村や児童が所属する学校や保育所等の関係機関から情報を収集し、その上で緊急受理会議を行います。そこで、緊急対応が必要と判断した場合はチームを編成し、児童の安全確認に向かいます。

児童が家庭にいる状況下での介入は難しいため、できる限り児童が学校や保育所等にいる時

間内に行うようにしています。

虐待が疑われる泣き声通告では、職員が現地に着いた時点で泣き声が聞こえず、また、集合住宅であるため家を特定することができないこともあります。そのため、予め、近隣で児童がいる世帯を市町村に確認するのですが、中には、家が特定できず可能性のある複数の世帯を1軒1軒訪問することもあります。

いずれの場合にも、傷痕の有無を確認し、児童本人から直接話を聞いて、国で示されているアセスメントシートに基づき一時保護の要否を判断します。

平成16年の児童福祉法改正により、市町村は虐待の通告を行う立場から、通告を受けて対応する機関へと役割が大きく変わりました。通告を受けた市町村は、学校や保育所、医療機関等の関係機関から緊急度や困難度等を判断するための情報収集を行います。立入調査や一時保護、専門的な判定や施設入所等の行政権限が必要な場合には児童相談所へ送致することとされています。児童相談所が直接通告を受理した場合でも、まずは市町村から世帯情報を収集し、連携、役割分担等を確認し協働で対応していきます。

児童虐待相談への対応は、児童だけではなく保護者からも丁寧に話を聞くことが大切です。子どもに特性があり養育が難しい、また、保護者自身の病気、経済的な要因など虐待につながる背景を探り、その問題解決に向け、必要な支援を行います。

本県ではすべての市町村に「要保護児童対策地域協議会」（以下「要対協」という）。が設置されており、支援対象児童に関し、関係機関が保有する情報の共有と支援に係る役割分担を決めています。児童相談所による支援が終了しても、再発を防ぐため要対協を中心に関係機関が継続的に関わることも少なくありません。

5 最後に

虐待相談対応件数は国が統計を取り始めた平成2年からこの約30年の間にその件数は本県で125倍も増加しています（全国は145倍）。

一方、ケースを直接担当する地区担当の児童福祉社は県全体で20数名程度であり、虐待だけでなく、非行や不登校などの様々な相談を受けています。あわせて、多くの継続ケースを抱えており、日々、定期的な通所や家庭、学校等への訪問などのケースワークと、これに伴う記録等の事務をこなしつつ、新たな通告や相談の対応を行っています。

児童虐待は社会全体で取り組むべき重要課題であり、当然ではありますが児童相談所だけで解決できるものではありません。発生予防、早期発見、早期対応そして自立に向け、複数の機関による切れ目のない、重層的な関わりが必要です。

身体的虐待で子どもに傷痕がある場合の受診や診断、また、定期通院を要する児童の病状調査や、関係機関が参加する要対協等のケース検討会への参加など、医療機関の皆様のご協力やご助言が必要なケースも少なくありません。医学的所見は、児童や家庭に対する支援には欠かせない情報となります。

子ども達が地域で安心・安全に暮らせるよう、皆様のご理解とご協力をお願いします。

最後に、このような機会をくださいました県医師会の皆様に感謝を申し上げます。

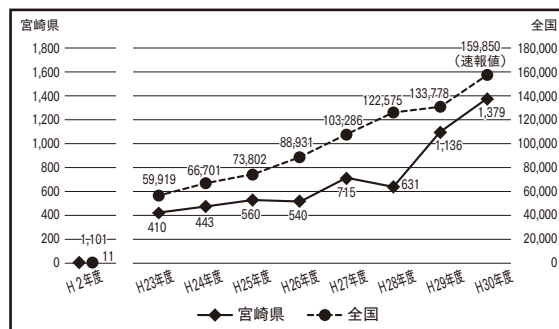


図1 児童相談所における児童虐待相談対応件数の推移

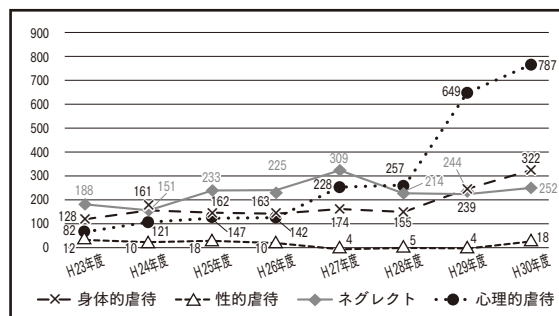


図2 虐待種別の推移

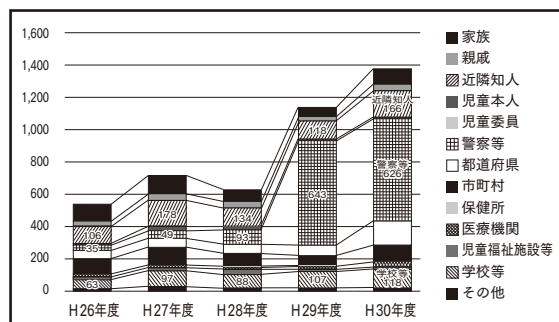


図3 虐待相談経路別

宮大医学部学生のページ



宮崎大学学園祭 第15回清花祭

清花祭清武キャンパス実行委員長 医学科4年

おおにし

けい啓

日時：令和元年11月16日(土)、11月17日(日)

会場：宮崎大学木花キャンパス

宮崎大学清武キャンパス

今年は上記の通り学園祭を行うことが決定いたしましたのでお知らせします。今年の学園祭は令和になって初めての学園祭になります。先輩方が作り上げてきたこれまでの清花祭の伝統を引き継ぎつつ、新しい令和の時代にあった清花祭を作り上げていきます。学生一人ひとりが与えられた仕事を行うだけでなく、清花祭をより良いものにするために能動的に動いて清花祭を作り上げていきます。会場まで足を運んでいただけたら幸いです。様々なイベント・企画があり、以下では清武キャンパスでの内容の一部をご紹介します。

清武キャンパス医学展・イベント

〈解剖・病理企画〉

この企画は、身体の構造や身近な病気について理解を深め、ご自身の健康について考えていただくことを目的としています。実物の病理標本や模型に加え、子どもたちにも気軽に楽しんでいただける塗り絵なども用意しています。ぜひ足を運んでいただき、医学や人体の面白さに触れてみてください！

〈模擬店〉

各部活が二日間にわたってそれぞれの模擬店

を作り、清花祭を盛り上げます。清武キャンパスでは講義棟前の中庭を模擬店が囲み、はしまき、わたあめ、焼きそばなど様々な種類の食品販売がありますのでぜひご賞味ください。

〈子ども企画〉

子ども企画では、清花祭に来てくれた子どもたちと一緒に、体育館でミニ運動会を行います。大学で行う年に一度のお祭りを、子どもや保護者の方と一緒に楽しい時間を過ごしていきたいと考えています。メダルやお菓子を用意していますので、多くの子どもたちの参加をお待ちしております。

〈年齢企画〉

毎年来場者が1,000人を超え、リピーター続出の、地域の方々からも愛される人気企画です。脳、肌、血管、体力といった体の状態を『年齢』と言う数字を通して測定することで、自身の健康に関心を持っていただきたいと思います。皆様のご来場をお待ちしております。

〈アロマ企画〉

『人の心を癒す優しさ』を伝える療法として医療現場に取り入れられつつあるメディカルアロマセラピーについての展示と、実際にアロマオイルを使ったハンドマッサージ、そしてハーブティーとお菓子の提供を通して“人を癒す”ことを考えるという企画です。ぜひ、日常とは少し違った癒しの空間をご堪能ください。

〈患者さんの気持ち 看護師の気持ち お医者さんの気持ち〉

患者さんや医療従事者の気持ちを本という1つの形にしてきて、20年近くになります。今年も、学祭を機にこの本の配布をします。患者

さんや医療従事者の気持ちにスポットライトを当てることでお互いの『伝えなかったのは伝えられなかった思い』に近づく機会となれば幸いです。

イベント名 (場所)	時 間	内 容
11月16日(土)		
ミスキャン (屋外イベントステージ)	10:30～12:30	様々な競争を勝ち抜いた清武キャンパスのNO.1 美女を決めるコンテストです。
軽音 (屋外イベントステージ)	12:30～13:00	軽音楽部員によるバンドの演奏です。
管打楽器 (体育館)	13:00～13:30	管打楽器部員による心に響く演奏です。
アカペラ (体育館)	13:30～14:00	アカペラ部員が調和のとれた美しい歌声を披露します。
篠懸太鼓 (体育館)	14:00～14:45	勇壮で力強く、心震える太鼓の演奏です。
KIZUNA (屋外イベントステージ)	15:00～17:00	学生がチームとなってゲームに取り組み、絆を一層深めてもらう企画です。
11月17日(日)		
コンテスト (屋外イベントステージ)	10:00～11:30	清武キャンパスで最も美しく最も勇ましい男の子を決定するコンテストです。
軽音 (屋外イベントステージ)	11:30～12:00	軽音楽部員によるバンドの演奏です。
管打楽器 (屋外イベントステージ)	12:00～12:30	管打楽器部員による心に響く演奏です。
DOC (ダンスサークル) (屋外イベントステージ)	12:30～13:15	医学部ダンスサークルによるパフォーマンスです。
子ども企画 (体育館)	13:00～14:30	地域の子どもたちを招待してミニ運動会を開催します。

※雨天の場合、屋外ステージで行う予定のイベントは体育館で行います。

※子ども企画は天候により開始時間が異なります。ご了承ください。

※模擬店の営業時間は、16日(土) 10:00～17:00、17日(日) 10:00～16:30になっております。ぜひお越しください。

清花祭の詳しい情報は、ホームページ: <https://miyaigakusai.wixsite.com/kiyokasai>

twitter:『宮崎大学医学部 学祭 幹部』で検索してください。

instagram:『宮崎大学医学部 学祭 幹部』で検索してください。

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会学術広報課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
8月28日	・令和元年度地域における薬剤師・薬局の機能強化及び調査・検討事業の実施について
8月29日	・医師の働き方に関する勤務実態及び意向等に関する調査への協力依頼について ・令和元年8月の前線に伴う大雨による災害の被災者に係る被保険者証等の提示等について ・防災推進国民大会2019の開催について ・【日本医師会】医療機関におけるキャッシュレス決済に関するアンケートへのご協力をお願いについて ・NBCR対策推進機構 第7回「爆発物災害対策担当者養成講習会」の開催について ・がん検診の結果に関する正確な通知について
8月30日	・疑似症サーベイランスの運用ガイドランス等の送付について ・令和元年8月の前線に伴う大雨による災害の被災者に係る妊婦健康診査等の各種母子保健サービスの取扱いについて ・令和元年8月の前線に伴う大雨による災害による被災者に係る公費負担医療の取扱いについて ・「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」の宣言を受けたエボラ出血熱に係る対応について」の一部改正について ・季節性インフルエンザワクチンの供給について ・廃棄物処理におけるエボラ出血熱対策について ・チクングニア熱やデング熱等の蚊媒介感染症に関する注意喚起等について ・令和元年8月の前線に伴う大雨による災害にかかる予防接種の取扱いについて ・「中小病院における薬剤耐性菌アウトブレイク対応ガイドランス」について
9月2日	・医療法人設立認可一覧・医療法人解散認可一覧（令和元年8月28日認可） ・特定不妊治療費助成事業に関するパンフレットについて ・非常用電源等の法定点検未実施の病院への適切な対応に係る周知について ・令和2年度地域医療介護総合確保基金（医療分）に係る事業提案について
9月3日	・抗PD-L1 抗体抗悪性腫瘍剤（テセントリク点滴静注）に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項の一部改正について ・「病原微生物検出情報」の送付について ・「令和2年度病床機能等分化・連携促進基盤整備事業」及び「病床の機能分化・連携を推進するための基盤整備」に係る事業実施意向調査について
9月5日	・「子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について（第15次報告）」の送付について ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について
9月6日	・特定機能病院及び地域医療支援病院の見直しに関する議論の整理について ・県民一斉防災行動訓練「みやざきシェイクアウト」への協力について ・酸素の価格の一部改正に関する周知について ・「使用上の注意」の改訂について
9月9日	・膜型血漿分離器における血漿ポートの誤接続防止のための形状変更とその対応について
9月10日	・第7回人間を中心とした医療国際会議の開催について ・健康経営優良法人2020の申請受付について ・病院等の勤務環境に関するアンケート調査について（依頼）の送付について ・黄熱の予防接種実施機関の指定について ・ワクチン納入状況報告システム（プロトタイプ）の運用開始について ・かかりつけ医向け研修の推進に向けた日本医師会とジョスリン糖尿病センターの連携について

送付日	文 書 名
9月11日	・「労災疾病等医学研究普及サイト」に係るリーフレット周知依頼について ・「職場の健康診断実施強化月間」の実施に関する協力依頼について ・NBCR対策推進機構 第1回「CBRNEテロ・災害対策－図上演習－担当者養成講習会」の開催について ・医療用医薬品等に係る消費税率引上げへの対応等について
9月12日	・映画「いのちのスケッチ」の広報に関する協力依頼の件 ・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて ・令和元年台風15号による被災に関する診療報酬等の請求の取扱いについて ・ラグビーワールドカップ2019日本大会開催に伴う感染症発生動向調査の取組強化について ・「日医君」都道府県バージョンイラスト素材について
9月13日	・令和元年台風第15号の影響による停電による被災者に係る公費負担医療の取扱いについて ・グレカプレビル水和物/ピブレンタスビル製剤の製造販売後調査及び適正使用への協力のお願いについて ・材料価格基準の一部改正等について
9月17日	・死因究明等推進基本法の公布について ・令和元年度地域における薬剤師・薬局の機能強化及び調査・検討事業の実施について ・令和元年台風15号の影響による停電に伴う保険診療関係等及び診療報酬の取扱いについて ・医療用医薬品の販売情報提供活動に関するガイドラインに関するQ&Aについて（その3） ・メチルフェニデート塩酸塩製剤（コンサータ錠18mg、同錠27mg及び同錠36mg）の使用にあたっての留意事項について ・令和元年台風15号の影響による停電による被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について ・令和元年度結核予防週間の実施について
9月19日	・令和元年度糖尿病性腎症重症化予防に関する市町村職員等研修の開催について ・肝炎治療特別促進事業におけるマヴィレット配合錠の12歳以上の小児への保険適用拡大についての取扱いについて
9月20日	・事業所内保育施設の認可外保育施設届出対象化について ・令和元年度診療報酬改定関連の官報掲載事項の一部訂正の送付について（特定保険医療材料及びその材料価格（材料価格基準）の一部の改正） ・内服薬等の包装の誤飲の発生について
9月24日	・労災診療費算定基準の一部改定について（消費税率引き上げに伴う労災診療費改定通知等） ・NBCR対策推進機構 第2回「CBRNEテロ・災害医療対策担当者養成講習会」の開催について ・イベニティ皮下注105mg シリンジの保険適用に係る留意事項の一部改正について ・「ケトジェンヌ」と称する健康食品を使用した消費者の健康被害について
9月26日	・令和元年台風15号の災害による被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について ・令和元年度「いいお産の日in宮崎」ポスターの送付について
9月27日	・デング熱の国内感染が疑われる症例の発生について ・風しんの抗体検査・予防接種に関する啓発について ・令和元年台風第15号の影響による停電にかかる予防接種の取扱について ・令和元年台風17号により発生した災害により被災した医療施設等に係る災害復旧費補助金の活用意向について
9月30日	・日医年金 脱退一時金の適用利率について ・内服薬等の包装の誤飲の発生について ・外国元首・祝賀使節等の来日に伴う交通規制について ・「令和元年度 宮崎県保育連盟連合会 人権保育推進部研修会」のご案内 ・後期高齢者医療制度の健診において使用している質問票の変更並びに電子的な標準様式等の仕様の変更について ・使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について ・映画「いのちスケッチ」ポスター・チラシの送付について ・アスベスト訴訟（工場労働者型）の和解手続に係る周知について ・令和元年台風第15号による災害にかかる予防接種の取扱について ・「使用上の注意」の改訂について

あとかき



4年生の10月末から始まったクリニカル・クラークシップⅠの実習が先月終了し、今月からクリニカル・クラークシップⅡの実習が始まります。4年の前期までの座学は長く感じましたが、実習をしていると、時の流れの早さに驚きます。

この宮崎県医師会学生広報委員の任期も2年であり、残すところあと4か月となりました。広報委員の

先生方との校正委員会や日州医事の校正も、最初は慣れませんでした。今年度は積極的に発言できるようになりました。

この2年間の広報委員会の活動で一番印象的なのは、今年8月に行われた第10回宮崎の医療を考える会です。この会には、若手記者の方々、広報委員の先生方、私たち学生広報委員が参加しました。

毎年、広報委員会で話し合い、この会の題材を決定しますが、今回は昨今注目を集めている地域枠について議論しないかと、地域特別枠で入学した私から提案しました。地域の医師不足を解消するために、厚労省が昨年7月にキャリア形成プログラムを定め、宮崎県は地域枠学生の県内勤務の期間を原則9年と決めました。

この制度は、今後入学する学生だけでなく在学学生も対象になりますが、在学学生にとっては入学時の地域枠の制度と大幅に相違があり、不安を感じたため、この会で議題にすることにしました。

私は、地域の方々から信頼される宮崎県の医師の一人になりたいと強く希望し、地域特別枠で入学したため、宮崎県に残ることに何の不安、不満ありませんが、制度が目まぐるしく変わり、将来のキャリア形成について不安を抱くようになりました。

宮崎の医療を考える会では、様々な記者の方々や広報委員の先生方から質問をいただき、地域枠の話題だけでなく、宮崎県の医師不足についても話題がおよび、大変充実した会になりました。

今後、現役の学生や入学してくる後輩がこれ以上不安を感じないように、私たちがパイオニアとなって道を切り開き、宮崎の医師不足が少しでも解消できればと考えている次第です。

宮崎県や宮崎大学、在学学生、そして今後入学する後輩達全員が納得できる良いプログラムになるように今後も話し合いを続けていきたいと思っています。(土持)

* * *

最近の台風や豪雨、河川の氾濫などの被害を目にすると心が痛みます。当院も大雨や台風で過去3回床上浸水したことがあります。診療は当然中止。床の水をかき出して、濡れたものを乾燥させて、壊れた機材を入れ替えて等々。精神的・肉体的、経済的にもとても大変でした。被災された方々が大変さが少しですが実感できます。天の神様にお任せする部分も大きく、どこまでの「想定外」に対応できるかは分かりませんが、できる対策はしていこうと思います。

(西田)

* * *

ラグビーワールドカップでの日本代表の活躍はすごかったですね。世界一の練習量もさることながら、実は運も味方につけたのかもしれない。ラグビー日本代表が宮崎キャンプで来ていた時に参拝した日向の大神神社には、国歌にでてくるさざれ石があります。苔の生えた大きな巖もあり、積み重ねられた大きな絆、まさに「ONE TEAM」にピッタリの神社です。先日、初めて参拝しましたが、神社の背にある日向灘からの波には力強さを感じました。大神神社は、スポーツの神様で有名になる予感がします。

(野村)

今年の天気は、本当に変だと思いました。まず、毎年、10月初めには、金木犀の花のいい匂いが、どこからともなく漂ってくるのに、今年は感じられませんでした。実際匂いを感じることができたのが、10月も半ばすぎた頃でしょうか。

そして、窓を開けても蒸し暑いので、診察室は、冷房を入れないと診療ができません。宮崎も雨がよく降りましたが、幸い天気は恵まれた方だと思いました。台風19号の被害状況を目の当たりにすると、他人ごとではなく、いつ自分の身にふりかかってくるかもしれないということを考えたところでした。

(上山)

* * *

先日、福岡であった合同病院説明会(eレジ)に参加しました。これは病院と学生の大規模なお見合いのようなもので、宮崎大学の他にも、多くの大学生が参加していました。1年目の先生が研修プログラムについて熱心に説明してくださるのですが、恥ずかしながら、自分自身が将来どんな医師になりたいのかまだはっきりしていなかったのも、漠然とした希望しか伝えることができませんでした。まずは自己理解を深めた上で、それに合う条件の研修先を探すべきだったと深く反省しました。(河野(太))

今月のトピックス

日州医談 一億総活躍社会において医師・医療従事者の働き方改革はどうなっていくのか？

医師の働き方改革の検討が進んでいますが、背景と施策についての解説とその問題を岩村威志理事に説明していただきました。いずれ数値的な結論は出るのですが、改めて難しい問題だと思いました。 4 ページ

メディアの目 世界糖尿病デー取材して

ご自身も罹患しているだけに生々しく説得力のある「世界糖尿病デー取材して」のご寄稿、最後の結びには同意いたします。報道の難しさもあるとは思いますがよろしく願いいたします。 9 ページ

診療メモ 児童相談所における児童虐待対応

「児童相談所」よく聞く言葉ではありますが、詳しくは知りませんでした。宮崎県中央児童相談所の中澤紀代美さんに宮崎の現況含め多方面から解説していただきました。表に出てきているのか？ 増えているのか？ 虐待対応件数が平成2年比125倍にはびっくりしました。ぜひご一読ください。 70ページ

日 州 医 事 第843号 (令和元年11月号) (毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 西田 隆昭・副委員長 稲倉 琢也, 野村 勝政
委 員 沖田 和久, 山崎 俊輔, 上山 貴子, 植田 雄一
学 生 委 員 伊澤 和範, 土持 友香, 河野 太地, 河野 真菜
担当副会長 山村 善教・担 当 理 事 荒木 早苗, 佐々木 究
事 務 局 学術広報課 本崎 礼子, 牧野 諭

印刷所 有限会社 中川印刷・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円 (但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)